令和８（2026）年度　歯科技工学科　シラバス目次

シラバスの活用方法 …… 2
歯科技工学科授業科目一覧 …… 4
教育の理念等 …… 5
授業時間表 …… 6
英語Ⅰ …… 8
英語Ⅱ …… 11
コミュニケーション技法 …… 14
情報リテラシー …… 17
デジタル医療機器演習 …… 20
健康科学 …… 22
歯科造形芸術概論 …… 24
専門歯科治療概論 …… 26
早期体験演習 …… 29
歯科技工管理学 …… 31
歯科技工士と関係法規 …… 33
歯科技工学概論 …… 35
歯の解剖学 …… 37
顎顔面解剖学 …… 41
歯形彫刻概論 …… 43
口腔解剖学実習 …… 45
顎顔面解剖学演習 …… 48
歯形彫刻実習 …… 50
顎口腔機能学Ⅰ …… 52
顎口腔機能学Ⅱ …… 54
顎口腔機能学演習 …… 56
歯科理工学Ⅰ …… 58
歯科理工学Ⅱ …… 64
歯科理工学Ⅲ …… 67
歯科理工学実習 …… 69
総合講義（専門基礎分野）…… 72
有床義歯技工学Ⅰ …… 77
有床義歯技工学Ⅱ …… 80
有床義歯技工学Ⅲ …… 83
有床義歯技工学実習Ⅰ …… 85
有床義歯技工学実習Ⅱ …… 93
有床義歯技工学演習 …… 96
歯冠修復技工学Ⅰ …… 98
歯冠修復技工学Ⅱ …… 102
歯冠修復技工学Ⅲ …… 105
歯冠修復技工学実習Ⅰ …… 107
歯冠修復技工学実習Ⅱ …… 114
歯冠修復技工学演習 …… 117
矯正歯科技工学Ⅰ …… 119
矯正歯科技工学Ⅱ …… 122
矯正歯科技工学実習 …… 125
小児歯科技工学Ⅰ …… 127
小児歯科技工学Ⅱ …… 130
小児歯科技工学実習 …… 132
歯科技工実習 …… 134
総合講義（専門分野）…… 136

シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。

各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

【記載項目】

◆授業形態

講義・演習・実習

◆授業責任者

授業科目の責任者

◆学期

前期・後期・通年

◆授業概要

授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

◆一般目標（General Instructional Objective:GIO）

学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

◆学習成果

授業を通して得られる成果が、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーのどの部分に該当するのかを記載しています。

◆教科書・参考書

授業において使用する教科書・参考書および教員推薦の図書などを記載しています。授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するために、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

◆アクティブラーニング

学生の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の総称。

PBL（Project Based Learning）：テーマに沿ったプロジェクト又は特定の問題を提示し、それらの問題解決を通して、様々な知識・スキルを学ばせる方法。

ディベート：明確なルールに基づいて、肯定派と否定派に分かれて議論する方法。

ディスカッション：決められたテーマに対して自由に意見を交わす方法。

フィールドワーク：学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う方法。（学外施設等の見学を含む。）

プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で発表を行う方法。

◆成績評価の方法

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には、比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、臨床実習・臨地実習については、学習の成果を評価します。

◆オフィスアワー

授業科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

◆授業担当者

授業日ごとの授業担当者を記載しています。

◆授業内容

授業のテーマ、授業の内容を記載しています。

◆行動目標（Specific Behavioral Objectives:SBOs）

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目については、試験前にも必ず確認してみましょう。

◆準備学習（予習・復習）

１単位は45時間の学習に相当します。

講義の場合は、受講15時間と予習・復習30時間、演習の場合は、受講30時間と予習・復習15時間、実習の場合は、受講45時間となっています。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

◆単位数

各授業科目の単位数は、次の基準により計算しています。ただし、１時間は40分としています。

①講義については、15時間の授業をもって１単位とします。

②演習（語学を含む）については、30時間の授業をもって１単位とします。

③実習については、45時間の授業をもって１単位とします。

④教育上必要があるときは、講義及び演習については15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、実験・実習及び実技については30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、それぞれ１単位とすることがあります。

歯科技工学科授業科目一覧

	科目名	単位数
基礎分野		
1	英語Ⅰ	1
2	英語Ⅱ	1
3	コミュニケーション技法	1
4	情報リテラシー	1
5	デジタル医療機器演習	1
6	健康科学	1
7	歯科造形芸術概論	1
	小　計	7
専門基礎分野		
8	専門歯科治療概論	1
9	早期体験演習	1
10	歯科技工管理学	1
11	歯科技工士と関係法規	1
12	歯科技工学概論	1
13	歯の解剖学	2
14	顎顔面解剖学	1
15	歯形彫刻概論	1
16	口腔解剖学実習	2
17	顎顔面解剖学演習	1
18	歯形彫刻実習	1
19	顎口腔機能学Ⅰ	1
20	顎口腔機能学Ⅱ	1
21	顎口腔機能学演習	1
22	歯科理工学Ⅰ	4
23	歯科理工学Ⅱ	2
24	歯科理工学Ⅲ	1
25	歯科理工学実習	1
26	総合講義（専門基礎分野）	1
	小　計	25
専門分野		
27	有床義歯技工学Ⅰ	2
28	有床義歯技工学Ⅱ	2
29	有床義歯技工学Ⅲ	1
30	有床義歯技工学実習Ⅰ	6
31	有床義歯技工学実習Ⅱ	2
32	有床義歯技工学演習	1
33	歯冠修復技工学Ⅰ	2
34	歯冠修復技工学Ⅱ	2
35	歯冠修復技工学Ⅲ	1
36	歯冠修復技工学実習Ⅰ	6

	科目名	単位数
37	歯冠修復技工学実習Ⅱ	2
38	歯冠修復技工学演習	1
39	矯正歯科技工学Ⅰ	1
40	矯正歯科技工学Ⅱ	1
41	矯正歯科技工学実習	1
42	小児歯科技工学Ⅰ	1
43	小児歯科技工学Ⅱ	1
44	小児歯科技工学実習	1
45	歯科技工実習	11
46	総合講義（専門分野）	1
	小　計	46
	合　計	78

教 育 の 理 念 等

教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、学校教育法の精神に基づき、歯科衛生及び歯科技工に関する専門の知識と技術を教授研究し、高度な歯科衛生士及び歯科技工士の育成を図ることを目的とする」と規定している。この目的を体して、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成する。

教育の目的

教育の理念を具現するために、一般教養と基礎医学及び臨床に関する最新の講義と実習を行い修得させる。これにより、医学の一領域･人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成し口腔保健衛生、歯科技工の向上に寄与し、保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

教育の目標

１．地域医療に貢献できる歯科技工士を育成する。
２．口腔機能の回復と向上に貢献できる歯科技工士を育成する。
３．自らの健康を守り、豊かな人間性を持った歯科技工士を育成する。
４．幅広い教養と倫理観を持った歯科技工士を育成する。
５．社会のニーズに対応し、自己研鑽できる歯科技工士を育成する。
６．多職種の中での役割を理解し、協働連携できる歯科技工士を育成する。
７．問題を発見し解決する能力を持った歯科技工士を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、歯科技工士国家試験受験資格を取得できます。
１．地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
２．豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
３．歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
４．歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
５．長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学は、教育の理念に基づいた人材育成のために、教養科目及び専門基礎・臨床の均整のとれた科目を構築し、以下の方針で教育を行います。
１．全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
２．高い技術力と豊かな表現力､コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
３．協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
４．専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
５．国家資格取得を支援するための教育を行う。

新潟短期大学

令和８（2026）年度　歯科技工学科　授業時間表

歯科技工学科　１年前期

	１限	２限	３限	４限
	９：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00
月	情報リテラシー 渡辺・吉村	コミュニケーション技法 宮崎	早期体験演習 加藤	
火	歯科技工学概論 関口・三富 顎口腔機能学Ⅰ 浅沼	歯冠修復技工学Ⅰ 上田	口腔解剖学実習 吉村	
水		歯の解剖学 吉村	有床義歯技工学実習Ⅰ 水橋	
木	英語Ⅰ 木村	有床義歯技工学Ⅰ 水橋	歯科理工学Ⅰ 大熊	健康科学 鴨田 歯科造形芸術概論 加藤
金	歯冠修復技工学実習Ⅰ 上田		歯科理工学実習 大熊	

歯科技工学科　１年後期

	１限	２限	３限	４限
	９：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00
月		小児歯科技工学Ⅰ 長谷川 矯正歯科技工学Ⅰ 長谷川	歯冠修復技工学実習Ⅰ 上田	
火	英語Ⅱ 木村	顎口腔機能学Ⅱ 浅沼 歯科技工管理学 小松﨑	有床義歯技工学実習Ⅰ 水橋	
水		顎口腔機能学演習 浅沼 デジタル医療機器演習 上田		
木		歯科理工学Ⅰ 大熊	有床義歯技工学実習Ⅰ 水橋	
金	歯冠修復技工学実習Ⅰ 上田			

歯科技工学科　２年前期

	1限 9：00～10：20	2限 10：40～12：00	3限 13：00～14：20	4限 14：40～16：00
月	歯科技工実習 関口・三富		矯正歯科技工学実習 長谷川	
			小児歯科技工学実習 長谷川	
火	顎顔面解剖学 吉村	専門歯科治療概論 浅沼	歯冠修復技工学実習Ⅱ 加藤	
	歯科技工士と関係法規 小松﨑			
水	歯冠修復技工学Ⅱ 関口・三富	有床義歯技工学Ⅱ 浅沼	歯形彫刻実習 吉村	
			顎顔面解剖学演習 吉村	
木	歯科技工実習 関口・三富		有床義歯技工学実習Ⅱ 関口・三富	
金	歯形彫刻概論 吉村	歯科理工学Ⅱ 大熊	歯科技工実習 関口・三富	

歯科技工学科　２年後期

	1限 9：00～10：20	2限 10：40～12：00	3限 13：00～14：20	4限 14：40～16：00
月		有床義歯技工学Ⅲ 浅沼	総合講義（専門基礎分野） 総合講義（専門分野）	
		歯冠修復技工学Ⅲ 加藤		
火		歯科理工学Ⅲ 大熊	総合講義（専門基礎分野） 総合講義（専門分野）	
水	総合講義（専門基礎分野） 総合講義（専門分野）			
木	歯科技工実習 関口・三富			
金		小児歯科技工学Ⅱ 長谷川	有床義歯技工学演習 水橋	
		矯正歯科技工学Ⅱ 長谷川	歯冠修復技工学演習 加藤	

授業科目名	授業形態	単位数
英語Ⅰ	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
木村　富士枝	第1学年	前期	木曜日	9:00～10:20

授業概要

外国語を学ぶことは教養を身につけるという意味ではもちろん、特に医療を志す者にとって、第一には外国語の良い教科書、文献を読むため、第二には外国語で知識や情報を交換するために必要不可欠なことである。健康・医療に関する英文を通して英語の基礎を修得する。

一般目標（GIO）

「読む」「聞く」「話す」「書く」に関する基本的知識と技能を修得し、英語の基礎力を身につける。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ○ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ○ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

Quality of Life（南雲堂）

参考書

辞書持参（種類は問わない）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ○ ディスカッション
- フィールドワーク
- ○ プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（　40　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（　30　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- ○ 成果発表（口頭・実技）（　30　%）
- その他（　　）（　　%）

テキスト・授業内容に関する筆記試験（40%）、Unit毎のレポート提出（30%）、会話テキスト内容に関する口頭試験（30%）、により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	木村　富士枝	始めに　学習の方法	テキスト各章のタイトルを理解する
	準備学習	シラバスを熟読し、質問等をまとめておく。	
第２回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 1（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第３回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 1（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第４回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 2（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第５回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 2（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第６回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 3（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第７回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 3（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第８回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 1-3 まとめ	Quality of Life（QOL）に関する文章について、要点をまとめ説明することができる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第９回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 4（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第10回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 4（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第11回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 5（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第12回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 5（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第13回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 6（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	

第14回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 6（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第15回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 4-6 まとめ	Quality of Life（QOL）に関する文章について、要点をまとめ説明することができる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	

授業科目名	授業形態	単位数
英語Ⅱ	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
木村　富士枝	第1学年	後期	火曜日	9:00～10:20

授業概要

外国語を学ぶことは教養を身につけるという意味ではもちろん、特に医療を志す者にとって、第一には外国語の良い教科書、文献を読むため、第二には外国語で知識や情報を交換するために必要不可欠なことである。健康・医療に関する英文を通して英語の基礎を修得する。

一般目標（GIO）

「読む」「聞く」「話す」「書く」に関する基本的知識と技能を修得し、英語の基礎力を身につける。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ○ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ○ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

Quality of Life（南雲堂）

参考書

辞書持参（種類は問わない）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ○ ディスカッション
- フィールドワーク
- ○ プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（　40　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（　30　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- ○ 成果発表（口頭・実技）（　30　%）
- その他（　　）（　　%）

テキスト・授業内容に関する筆記試験（40%）、Unit毎のレポート提出（30%）、会話テキスト内容に関する口頭試験（30%）、により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	木村　富士枝	始めに　学習の方法	テキスト各章のタイトルを理解する。
	準備学習	シラバスを熟読し、質問等をまとめておく。	
第２回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 8（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第３回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 8（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第４回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 9（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第５回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 9（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第６回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 10（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第７回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 10（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第８回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 8-10 まとめ	Quality of Life（QOL）に関する文章について、要点をまとめ説明することができる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第９回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 11（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第10回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 11（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第11回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 12（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第12回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 12（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第13回	木村　富士枝	Quality of Life Unit 13（1）	Quality of Life（QOL）に関する文章を読み、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	

第14回	**木村　富士枝**	Quality of Life Unit 13（2）	Quality of Life（QOL）に関する文章を聞き、内容を理解できる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	
第15回	**木村　富士枝**	Quality of Life Unit 11-13まとめ	Quality of Life（QOL）に関する文章について、要点をまとめ説明することができる。
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく。	

授業科目名	授業形態	単位数
コミュニケーション技法	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
宮崎　晶子	第1学年	前期	月曜日	10:40～12:00

授業概要

患者や協働する医療従事者との良好な人間関係を構築し、全人的医療並びに円滑なチーム医療を遂行するために、医療人として具備すべきコミュニケーション技法を修得する。

一般目標（GIO）

業務を円滑に行うための基本となる「話す」、「聞く」技術を身につけ、良好なコミュニケーションをとることができるスキルを修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ○ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ○ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

コミュニケーション技法（ウイネット）
コミュニケーション検定初級過去問題集（ウイネット）

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- ○ PBL
- ○ ディベート
- ○ ディスカッション
- フィールドワーク
- ○ プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（ 100 %）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

サーティファイ コミュニケーション能力検定員会が行う初級コミュニケーション検定試験により評価を行う（多肢選択方式）。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階教授室または事務室前　※授業終了後またはメールで連絡でも可（akjc@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	宮崎　晶子	コミュニケーションとは ・効果的な自己紹介 ・定義	１.行動と感情・思考およびパーソナリティとの関係を概説できる。 基礎B-５-①
	準備学習	テキスト序章（６～14）の要点確認	
第２回	宮崎　晶子	コミュニケーションの基本 （１）話し方と人間関係	１集団における人間関係を概説できる。基礎B-５-⑬
	準備学習	テキスト第１章（16～21）の要点確認	
第３回	宮崎　晶子	コミュニケーションの基本 （２）挨拶と返事	１.文化や慣習によるコミュニケーション方法を列挙することができる。 基礎B-５-⑨
	準備学習	テキスト第１章（22～36）の要点確認	
第４回	宮崎　晶子	きれいな発声・発音を身につけよう	１.腹式呼吸、母音の練習、滑舌の練習をしながら発音・発声をはっきりおこなうことができる。 基礎B-５-⑩
	準備学習	テキスト第２章（38～46）の要点確認	
第５回	宮崎　晶子	正しい日本語（１） 書き言葉と話し言葉	１.話す言葉と書き言葉の違いを説明できる。 基礎B-５-⑧⑨⑩
	準備学習	テキスト第３章（48～68）の要点確認	
第６回	宮崎　晶子	正しい日本語（２） 敬語	１.尊敬語と謙譲語、丁寧語の違いを理解し、話すことができる。 基礎B-５-⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第３章（48～68）の要点確認	
第７回	宮崎　晶子	話すときの心構え（１） プレゼンテーション	１.自分の話し方をチェックしながら現状のコミュニケーション能力を確認する。基礎B-５-⑧⑩
	準備学習	テキスト第４章（70～80）の要点確認	
第８回	宮崎　晶子	話すときの心構え（２） 準備と内容の組み立て	１.聞き手を意識をしながら、伝えたい事項を述べることができる。基礎B-５-⑧⑩
	準備学習	テキスト第４章（70～80）の要点確認	
第９回	宮崎　晶子	効果的な話し方 ・整理と工夫	１.効果的に聞き手に伝えるために、５Ｗ２ＨやAIDMAの法則を使いなが話すことができる。 基礎B-５-⑧⑩⑪
	準備学習	テキスト第５章（82～88）の要点確認	
第10回	宮崎　晶子	効果的な表現力 ・表現力を高める技法	１.言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションを用いて、意思伝達をすることができる。 基礎B-５-⑧⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第６章（100～120）の要点確認	
第11回	宮崎　晶子	聞くことの重要性 ・聞く、聴く、訊く ・聞く態度を身につける	１.聞くことの重要性を述べることができる。 基礎B-５-⑧⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第二部第１章（122～142）の要点確認	

第12回	**宮崎　晶子**	各種コミュニケーションと場面のポイント ・報告・説得・交渉 ・ディベート	1.Time、Place、Occasion（時、場所、場合に応じて）、対象に合わせて話し方を使い分けすることができる。 基礎B-5-⑩
	準備学習	テキスト第二部第２章（144～157）の要点確認	
第13回	**宮崎　晶子**	検定対策（１）	１．コミュニケーション初級検定試験対策として、練習問題を解く。
	準備学習	問題集（２～34）の要点確認	
第14回	**宮崎　晶子**	検定対策（２）	１．コミュニケーション初級検定試験対策として、練習問題を解く。
	準備学習	問題集（36～82）の要点確認	
第15回	**宮崎　晶子**	総　括 ・自己分析 ・人間関係の構築	1.良好な人間関係構築のための基本スキルを修得する。 基礎B-5-①⑧～⑪⑬
	準備学習	自分のわからないところを振り返る。	

授業科目名	授業形態	単位数
情報リテラシー	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
渡辺　みのり 吉村　建	第1学年	前期	月曜日	9:00～10:20

授業概要

情報化社会においては、的確に情報を収集し選択するスキルが必要である。テキスト情報の操作は業種によらず社会人には不可欠な技能であり、WindowsOS環境にてWord等の機能を学び、データの保存形式や表現力など視覚的表現を含め実践的なテキスト操作技術を習得する。

一般目標（GIO）

情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し必要なデータや情報を有効活用するために、インターネットを利用した情報の収集や開示などに関する基本的知識・技能・態度を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

2024 事例でわかる情報モラル＆セキュリティ
Word2021クイックマスター
Word 文書処理技能認定試験 3 級問題集

参考書

Microsoft Word2021基礎（FOM 出版）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（60%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（検定，小テスト）（40%）

Word検定(40%)、第14～15回に作成するWordの最終課題(40%)、情報モラルとセキュリティの知識を確認するための小テスト(10%)、および毎回の講義の宿題(10%)により評価を行う。

オフィスアワー

毎回の講義日の放課後を予定している。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	渡辺　みのり 吉村　建	Windowsの基本操作 （プリント、教科書Chap.２）	１．PCを起動する。 ２．デスクトップアイコンを設定する。 ３．ホームポジションを意識して文字を入力する。 ４.新規フォルダの作成や削除ができる。 ５．USBフラッシュメモリにファイルを保存する。 ６．ブラウザにURLを入力し、ホームページを閲覧する。 基礎B-３）-①,②,⑤
	準備学習	10分で400文字が打てるようにブラインドタッチ（キーボードを見ないでの入力）を各自練習する。	
第２回	渡辺　みのり 吉村　建	Wordの基本（教科書Chap.１） 文字の入力と編集の基本操作①（教科書Chap.２）	１．Wordを起動する。 ２．文字の入力と変換をする。 ３．文書を保存する。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.38まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	
第３回	渡辺　みのり 吉村　建	文章の入力と編集の基本操作②（教科書Chap.２） 文章の編集①（教科書Chap.３）	１．文字列を選択する。 ２．文字列の編集とコピー・移動をする。 ３．ページの書式を設定する。 ４．文字の書式を設定する。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.68まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	
第４回	渡辺　みのり 吉村　建	文書の編集②（教科書Chap.３） 文章の印刷（教科書Chap.４）	１．文字幅と文字間隔を設定する。 ２．文字列の配置と字下げと行間を設定する。 ３．禁則処理、罫線と網掛けを実施する。 ４.ヘッダーとフッターを設定する。 ５．段落番号の書式を設定する。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.98まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	
第５回	渡辺　みのり 吉村　建	文章の作成（教科書Chap.５） 表を使った文章の作成①（教科書Chap.６）	１．段落番号の書式設定をする。 ２.箇条書きの設定をする。 ３.タブとリーダーを設定する。 ４．インデントを設定する。 ５．表を作成する。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.140まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	
第６回	渡辺　みのり 吉村　建	・表を使った文章の作成②（教科書Chap.６） 図形や画像を使った文章の作成①（Chap.７）	１.表を選択し、編集や装飾をする。 ２.ワードアートを挿入する。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.175まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	
第７回	渡辺　みのり 吉村　建	図形や画像を使った文章の作成（教科書②（Chap.７）	１.画像を挿入する。 ２.図形の作成と編集をする。 ３.テキストボックスの作成をする。 ４.アイコンの挿入をする。 基礎B-３）-②
	準備学習	教科書P.202まで復習する。10分で400文字が打てるようにブラインドタッチを各自練習する。	

第８回 第９回 第10回	渡辺　みのり 吉村　建	Word実践学習１～３ (問題集)	Word３級の模擬問題を検定試験と同じ環境で実施する。 基礎B-３）-②
	準備学習	宿題を作成する。問題集で出来なかったところを教科書で復習しておく。	
第11回	渡辺　みのり 吉村　建	検定試験 ・Word文章処理技能認定試験３級	Wordの検定試験を実施する。 基礎B-３）-②
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書で復習しておく。問題集を解き直す。	
第12回	渡辺　みのり 吉村　建	ネット社会のモラルとマナー ネット社会での生活 （情報モラル＆セキュリティ30テーマ）	１．ネット社会のモラルとマナーを理解する。 ２．ネット社会での生活を理解する。 基礎B-３）-③
	準備学習	情報モラル＆セキュリティ30テーマP.39までとP．68-71を復習する。	
第13回	渡辺　みのり 吉村　建	個人情報と知的財産 情報サービスとセキュリティ （情報モラル＆セキュリティ30テーマ）	１.個人情報と知的財産を理解する。 ２.情報サービスとセキュリティを理解する。 基礎B-３）-⑦
	準備学習	情報モラル＆セキュリティ30テーマP.67までとP.72-75復習する。	
第14回	渡辺　みのり 吉村　建	小テスト Word最終課題制作 ・院内文書（指導掲示等）の作成	１.情報モラルとセキュリティの知識を確認する。 ２.歯科医院内で使用する文書・様式を作成する。 基礎B-３）-②
	準備学習	情報モラル＆セキュリティ30テーマを復習する。院内チラシ作成のアイディアを考える。	
第15回	渡辺　みのり 吉村　建	情報モラル＆セキュリティの小テスト Word最終課題制作 ・院内文書（技工記録等）の作成	歯科医院内で使用される文章・様式を完成する。 基礎B-３）-②
	準備学習	院内チラシ作成のアイディアを考える。	

授業科目名	授業形態	単位数
デジタル医療機器演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
上田　一彦	第1学年	後期	水曜日	10:20～12:00

授業概要

将来、歯科技工士として医療にたずさわる上で、次世代歯科医療の中核となるデジタル医療機器の概要を理解する事が求められている。
本演習では、中核機器である3Dスキャナ・CAD・3Dプリンター・ミリングマシン等により、形状作成に関する基本操作から出力まで学ぶ。

一般目標（GIO）

次世代歯科医療の中核機器であるCAD・CAM・3Dプリンティング技術を総合的に理解するために、3Dスキャナ（EinScanSP）・CADソフトウエア（Fusion360・Meshmixer）・3Dプリンター・ミリングマシン（PocketNC V2-50)の基本操作について理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

田中 正史（著）
はじめてでもできる Fusion 360入門
技術評論社

参考書

大久保力廣・木村健二　編
月刊「歯科技工」別冊はじめる！使いこなす！3Dプリンターの基礎と臨床
医歯薬出版
岩永 翔伍（著）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（50%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（50%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

指定された形状をFusion360CAD・MeshMixerによる設計・調整したファイルを提出物として評価（50点）を行う。
同時にオートデスク社のFusion360ユーザー試験を受験（受験地：新潟市）し、点数を評価（50点満点）とする。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	上田　一彦	CADソフトの操作（１）	Fusion360のモデリングの基本操作を習熟する。（起動・プロジェクトの作成・データの保存・スケッチの描き方・寸法の入れ方・結合・切り取り・交差・編集など）
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門　第１・２章を熟読する。	
第２回	上田　一彦	CADソフトの操作（２）	Fusion360による造形操作（立体の作成）を習熟する。（直方体・円柱・球など）
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門　第３章を熟読する。	
第３回	上田　一彦	CADソフトの操作（３）	Fusion360の操作（回転体の作成・ネームプレートの作成）を習熟する。（ベース作成・穴の作成・押し出し・角を丸める・高台の作成・腰の作成・胴の作成・口縁を丸める）
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門　第４・５章を熟読する。	
第４回	上田　一彦	CADソフトの操作（４）	Fusion360の操作（スイープ・ロフト機能）を習熟する。（カップ本体の作成・取っ手の作成・ボトルの作製と断面の作製まで）
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門　第６・７章を熟読する。	
第５回	上田　一彦	３Ｄスキャナによる光学印象とソフトへのインポート	３Ｄスキャナ（EinScanSP）の操作と形状の取り込み（光学印象）、生成したSTLファイルのFusion360・Meshmixerへのインポートを習熟する。
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門、Autodesk Meshmixer入門編　第１～５章を熟読する。	
第６回	上田　一彦	モデリングソフトの操作	Meshmixerの基本操作・加工調整を習熟する。 設計した構造物データを３Ｄプリンタ・ミリングマシンに適したSTL形式データへ加工調整を習熟する（ミラーコマンドなど）。
	準備学習	Autodesk Meshmixer入門編　第６～12章を熟読する。	
第７回	上田　一彦	３Ｄプリンタの操作・出力	３Ｄプリンタ（DLP・FDM）の特性と操作を理解し、STLデータよりスライスデータ（G-Code）を作成と造形物の出力を習熟する。
	準備学習	はじめてでもできる Fusion 360入門　第10章を熟読する。	
第８回	上田　一彦	ミリングマシンの操作・切削	Fusion360において生成データからツールパス・NCデータ（G-Code）を作成し、CNCミリングマシンを操作しケミカルウッド素材から造形物の切削出力までを習熟する。
	準備学習	Fusion 360操作ガイド CAM・切削加工編を熟読する	

授業科目名	授業形態	単位数
健康科学	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
鴨田　剛司	第1学年	前期	木曜日	14:40～16:00

授業概要

歯科医療従事者として備えるべき健康の障害要因や公衆衛生、社会保障に関わる諸問題や最新情報を把握するために、予防医学の基礎や疫学的視点から健康増進や疾病予防に関する手法の基礎を学ぶ総論的な講義内容で構成されている。広くわが国の社会保障の視点から歯科技工の専門性を理解し、歯科医療現場や地域包括ケアシステムのなかで必要な知識を修得する。

一般目標（GIO）

疾病対策的医療の限界を知り、健康増進や疾病予防の段階を主体とした科学に立脚した歯科医療のあるべき姿を展望し、歯科技工の専門性を理解し歯科医療スタッフとしての連携や貢献性を発揮するために必要な基本的知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯学生のための健康科学　第3版　監修：小松崎明、浅沼直樹ほか（一世出版）

参考書

口腔衛生学2022　監修：小松崎明ほか（一世出版）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ○ ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（　100　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（講義態度ほか）（10%）

一般目標で示した項目についての筆記試験（記述および多肢選択式：100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。講義内で意見討論を実施する。

オフィスアワー

毎回の講義日の放課後の指定時間に設定する（18時まで）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	小松﨑　明	健康科学と予防医学の概要	1　健康と疾病の概念を説明する。 2　WHOの健康の定義を説明する。 3　疾病の自然史と予防の段階を対比する。 4　国際生活機能分類（ICF）の概念を説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第２回	小松﨑　明	歯科技工士と歯科技工所	1　歯科技工士法について説明する。 2　歯科技工士について説明する。 3　歯科技工について説明する。 4　歯科技工所について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第３回	小松﨑　明	社会保障制度の概要（１）	1　医療保険制度について説明する。 2　児童福祉・障害者福祉について説明する。 3　介護保険制度について説明する。 4　年金保険について説明する。 5　公的扶助の概要について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第４回	小松﨑　明	社会保障制度の概要（２） 感染症対策の基礎	1　健康、歯科口腔保健に関する法について説明する。 2　歯科医療関係法規について説明する。 3　保健医療福祉の各施設や多職種連携について説明する。 4　感染症の定義と成立要件について説明する。 5　感染症予防対策の基礎と感染制御について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第５回	鴨田　剛司	疫学とスクリーニング、リスク評価	1　疫学の概念と観察要因を説明する。 2　疾病指標を説明する。 3　疫学研究の方法について説明する。 4　スクリーニングについて説明する。 5　リスク評価について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第６回	小松﨑　明	歯科医療と福祉のシステム	1　医療保険制度のしくみについて説明する。 2　福祉制度の特徴を説明する。 3　医療保険者について説明する。 4　医療、福祉関係職種について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第７回	鴨田　剛司	環境保健と産業衛生	1　環境と健康の概念について説明する。 2　空気・水と健康との関わり合いを説明する。 3　温熱環境と健康との関わり合いを説明する。 4　廃棄物の処理対策について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	
第８回	小松﨑　明	医療経済と講義の総括	1　国民医療費について説明する。 2　社会保障費について説明する。 3　歯科医療費について説明する。 4　全身と口腔の健康について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第３版」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科造形芸術概論	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
加藤　千景	第1学年	前期	木曜日	14:40～16:00

授業概要

歯科技工士として審美的感覚を養うために、物体の観察方法、形態再現方法、造形表現方法および色彩に関連する専門性を理解する。また、自己研鑽能力を身につけるために、制作過程を振り返り、評価する。

一般目標（GIO）

歯科技工造形美術の理論的、学問的背景を理解するために、美的感性と想像力を養う。また、歯の形態の観察とデッサンの技法と技工作業に調和する色彩環境を学び、立体造形の基礎を修得する

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [ ] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本歯科技工造形学（医歯薬出版）

参考書

山口 喜雄 (編集), 天形 健 (編集) ベーシック造形技法―図画工作・美術の基礎的表現と鑑賞建帛社

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

毎週の講義実施日の放課後。メールで設定する（chikage@ngt.ndu.ac.jp）。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	加藤　千景	・美とは	１）美の定義を述べる。 ２）歯科審美を述べる。 ３）人間の歯らしさの構成要素を述べる。
	準備学習	歯科技工造形学Ｐ１～Ｐ５までを熟読する。	
第２回	加藤　千景	・歯の観察に至るまで	１）感覚器官と認知を述べる。 ２）見ることのメカニズムについて述べる。 ３）対象をどうとらえているかについて述べる。
	準備学習	歯科技工造形学Ｐ６～P16までを熟読する。	
第３回	加藤　千景	・歯の形態表現	１）歯の形態表現の準備と基本を述べる。 ２）歯形彫刻用見本の描写を述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P17～P30までを熟読する。	
第４回	加藤　千景	・前歯のスケッチから着彩・造形表現	１）口腔の観察と着彩表現を述べる。 ２）歯を描くということについて述べる。 ３）自分の歯の観察と人工歯の選択について述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P31～P37までを熟読する。	
第５回	加藤　千景	・顔の観察	１）解剖学的スケッチについて述べる。 ２）粘土を用いた造形表現について述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P38～P47までを熟読する。	
第６回	加藤　千景	・歯科技工と色彩	１）色彩の基本について述べる。 ２）色を見ることについて述べる。 ３）無彩色と有彩色について述べる。 ４）色の分類と表示について述べる。 ５）色の見え方について述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P48～P57までを熟読する。	
第７回	加藤　千景	・歯科臨床における色彩	１）セラミック修復における色の表現について述べる。 ２）天然歯の色について述べる。 ３）色調選択（シェードマッチング）について述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P58～P63までを熟読する。	
第８回	加藤　千景	・コンピュータグラフィックス	１）リテラシーについて述べる。 ２）コンピュータを用いたデザインと技法について述べる。
	準備学習	歯科技工造形学P64～P70までを熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
専門歯科治療概論	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第2学年	前期	火曜日	10:40～12:00

授業概要

現在、歯科医療は多様な場面で必要とされ、その領域は広い。しかし、歯科で標榜できる診療科目として医療法に規定されているのは、歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科のみである。この4科は一般にも知られているが、歯科の中には高度な知識や技術を必要とする専門的な分野も多い。専門歯科治療概論では、日本歯科大学新潟病院に設置されている診療科・特殊外来・診療センターの概要や関連する基本事項を学ぶことにより、患者のニーズに沿った専門的歯科治療の理解を深める。

一般目標（GIO）

歯科における専門的治療を理解するために、日本歯科大学新潟病院の各特殊外来、センターにおける対象疾患、治療の内容などの基本的な知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

授業用プリント

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（ 100 %）
- 提出物（ノート・レポート）（ %）
- ポートフォリオ（ %）
- 成果発表（口頭・実技）（ %）
- その他（　　）（ %）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（90%）と、記述試験（10%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	訪問歯科口腔ケア科 ・訪問診療の進め方	１．歯科訪問診療の意義と目的を説明する。 ２．高齢者の全身疾患と口腔疾患の特徴を説明する。 ３．高齢者の摂食嚥下リハビリテーションを説明する。 ４．サルコペニアとフレイルを説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第２回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	白い歯外来 ・変色歯の基本的な対処法	１．歯の変色の原因と処置法を説明する。 ２．漂白法の適応症と種類を説明する。 ３．漂白法の手順と使用器材・薬剤を概説する。 ４．漂白後の指導内容を述べる。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第３回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	睡眠歯科センター ・睡眠医学、睡眠時無呼吸症候群との歯科医療の関わり	１．睡眠医学の概要を説明する。 ２．睡眠時無呼吸症候群との歯科医療の関わりを説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第４回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	歯科鎮静リラックス外来 ・歯科診療時の緊張がもたらす弊害とリラックスの効果	１．麻酔の目的について説明する。 ２．精神鎮静法・全身麻酔の適応症と種類を説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第５回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	障害児・者歯科センター ・障害児・者歯科医療	１．障害児者の概要を説明する。 ２．障害児者の歯科医療について説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第６回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	歯科アレルギー治療外来 ・歯科アレルギーの検査、治療法	１．アレルギーについて説明する。 ２．歯科におけるアレルギー疾患を列挙する。 ３．アレルギー疾患の検査および治療法について説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第７回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	スポーツ歯科外来 ・マウスガードに関する適応症、製作法	１．スポーツ医学のなかの歯科の関わりを説明する。 ２．マウスガードの適応症、製作法について説明する。 ３．歯・口腔の外傷の予防を説明する。 ４．アンチ・ドーピングの概略と歯科治療で注意すべきことを説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第８回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	いき息さわやか外来 ・口臭の原因、検査、診断、治療法	１．口臭の要因と予防を説明する。 ２．口臭検査の意義を説明する。 ３．口臭に関する指導の概要を説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	

第９回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	口のかわき治療外来 ・口腔乾燥症（ドライマウス）の原因、検査、治療法	１．口腔乾燥症の要因と予防を説明する。 ２．口腔乾燥に関する指導の概要を説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第10回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	あごの関節・歯ぎしり外来 ・顎関節症の特徴と原因、診察、検査、治療法	１．顎関節症の症型分類と症状を説明する。 ２．顎関節症の診断と治療法の原則を説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第11回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	顎のかたち・咬み合わせ外来 ・顎変形症の分類、原因、顎変形症に伴う障害、治療法	１．不正咬合の原因と障害を把握し、矯正治療の目的を説明する。 ２．顎変形症の症状と治療法を説明する。 ３．不正咬合の治療に適した装置を識別し、その構造、機能を説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第12回	浅沼　直樹 新潟病院担当 歯科医師	口腔インプラント科 ・口腔インプラントの適応と治療法	１．インプラント治療の特徴を説明する。 ２．インプラント治療の術式を説明する。 ３．インプラント治療のメインテナンスについて説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第13回	浅沼　直樹	クラウン・ブリッジ治療の流れ	1．クラウン・ブリッジ治療の流れを説明する。 2．クラウン治療に用いる器材について説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第14回	浅沼　直樹	総括とまとめ ・講義の内容を総括し、これまでの学習内容を復習する。	１．日本歯科大学新潟病院の診療科・特殊外来・診療センターの概要と治療に必要な基本的事項を記述する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第15回	浅沼　直樹	補綴治療に伴うトラブルとその対応	1．補綴治療に伴うトラブルについて説明する。 2．補綴治療に伴うトラブルの対応法について説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	

授業科目名	授業形態	単位数
早期体験演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
加藤　千景	第1学年	前期	月曜日	13:00～16:00

授業概要

新潟病院の歯科技工士の業務の実際を見学し、歯科技工業務の意義を確認し、歯科技工管理や歯科臨床における歯科技工士の役割を認識し、学習意欲を高める。

一般目標（GIO）

今後の基礎、臨床実習を円滑に行うために必要な器材・器具の取り扱いや管理、および患者対応、情報管理、技工物の取り扱いなどの基本的知識・技術・態度を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [ ] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [○] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [○] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [ ] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　:医歯薬出版、新潟病院DTCSL資料

参考書

新歯科技工士教本歯科技工学概論:医歯薬出版
最新歯科技工士教本歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　:医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（100%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

レポート（100%）で評価を行う。欠席した場合の補講は必要に応じて行う。

オフィスアワー

日時はメールで指定する　E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp（加藤千景）新潟短期大学（短大 2 階）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	加藤　千景	病院体験実習前学習 ・本学の新潟病院を見学し、医療を学ぶ学生として望ましい態度を培う。 ・歯科技工士の職場の見学を行う。	1．歯科技工学生に相応しい態度を実践する。 2．指導教員やコ・メディカルスタッフとコミュニケートする。 3．感染対策、医療安全に関する対策を説明する。 4．新潟病院に関する基礎的知識を説明する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	
第２回	加藤　千景	病院見学・体験実習 ・本学の新潟病院を見学し、医療を学ぶ学生として望ましい態度を培う。 ・技工士の職場の見学を行う。	1．歯科技工業務施設、技工機材を説明をする。 2．指導教員やコ・メディカルスタッフとコミュニケートする。 3．医療・歯科医療に興味を持ち、学ぼうとする意欲をもつ。 4．. 歯科技工指示と歯科技工物について説明する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	
第３回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科医師	病院歯科技工士室の管理 歯科技工士の業務を知る	1．病院歯科に勤務する歯科技工士の業務を理解する。 2．新潟病院内の情報管理について説明する。 3．歯科技工材料、医療廃棄物について説明する。
	準備学習	参考図書で歯科技工物が患者に装着されるまでの流れを理解する。	
第４回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科技工士	歯科技工士業務の実際 歯科技工操作の特徴	1．歯科技工士による精密操作、精度管理を考察する。 2．歯科技工士による機材管理方法を考察する。 3．診療室、歯科技工室の機器・材料の扱い方
	準備学習	参考図書で歯科技工作業における精度管理について理解する。	
第５回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科医師	歯科技工士の活動する場 総合診療科、小児・矯正歯科の歯科技工室	1．小児･矯正歯科で必要とされる歯科技工士を考察する。 2．総合診療科での歯科技工業務を考察する。 3.小児・矯正歯科での歯科技工業務を考察する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	
第６回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科医師	専門性の高い歯科医療現場（1） ・インプラント治療に関する補綴物について学ぶ	1．社会で必要とされる歯科技工士を考察する。 2．歯科技工士の将来像を考察する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	
第７回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科医師	専門性の高い歯科医療現場（3） ・訪問治療に関する補綴物について学ぶ	1．社会で必要とされる歯科技工士を考察する。 2．歯科技工士の将来像を考察する。 3．訪問歯科治療での歯科医療を説明する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	
第８回	加藤　千景 新潟病院担当 歯科医師	専門性の高い歯科医療現場（2） ・外科処置に関する補綴物について学ぶ	1．社会で必要とされる歯科技工士を考察する。 2．歯科技工士の将来像を考察する。 3．新潟病院の歯科医療提供体制を説明する。
	準備学習	新潟病院に関する基礎的情報をホームページで確認しておく。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科技工管理学	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
小松﨑　明	第1学年	後期	火曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科技工士としての業務を適切に遂行するために、歯科技工士法、歯科医師法、医療法、医薬品医療機器等法に関する知識を身につけ、歯科医療管理の視点で歯科技工所の開設や管理、設備管理等に関する基礎的知識を修得する。

一般目標（GIO）

歯科技工士の資格、歯科技工業務を規定する法や制度、歯科技工機械や歯科技工材料の管理手法を学び、業務管理や遂行に必要な基本的理論や手法を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科技工管理学・全国歯科技工士教育協議会編・医歯薬出版

参考書

歯学生のための健康科学　第3版・小松﨑　明ほか監修・一世出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- ☐ PBL　☐ ディベート　☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク　☐ プレゼンテーション
- ☐ その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（ 95 %）　○ 提出物（ノート・レポート）（ 5 %）
- ☐ ポートフォリオ（　%）　☐ 成果発表（口頭・実技）（　%）
- ☐ その他（　　）（　%）

一般目標で示した項目についての記述式、多選択肢形式筆記試験（95%）と、指定の提出課題（5%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。

オフィスアワー

毎週の講義実施日の放課後、18時までの間（短大学長室）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	小松﨑　明	歯科医療と歯科技工	１．歯科技工学の意義について説明できる。 ２．歯科医療および歯科技工の特徴を説明できる。 ３．歯科技工士と他の歯科職種との関係性を説明できる。
	準備学習	テキスト第１章の内容を確認しておく。	
第２回	小松﨑　明	歯科技工士の役割	１．歯科技工士の役割・業務について説明できる。 ２．歯科技工士の就業先や業務形態を説明できる ３．歯科技工における安全管理について説明できる。 ４．歯科技工における感染症予防対策について説明できる。
	準備学習	テキスト第２章の内容を確認しておく。	
第３回	小松﨑　明	歯科技工の管理・運営	１．歯科技工業務の概要について説明できる。 ２．歯科技工の法的背景を説明できる。 ３．歯科技工所の開設、管理について説明できる。 ４．塵埃および感染源による汚染防止対策を説明できる。
	準備学習	テキスト第６章の内容を確認しておく。	
第４回	小松﨑　明	社会保障制度の概要	１．保健・医療・福祉の概要について説明できる。 ２．歯科技工と歯科診療所・病院との関係を説明できる。 ３．療養の給付や公費医療について説明できる。
	準備学習	テキスト第10章の内容を確認しておく。	
第５回	小松﨑　明	衛生行政と歯科技工	１．保健機関や福祉施設の概要について説明できる。 ２．歯科技工士が関係する行政機関を説明できる。 ３．歯科技工所の開設・管理手続きについて説明できる。
	準備学習	テキスト第10章の内容を確認しておく。	
第６回	鴨田剛司	歯科技工と倫理	１．医の倫理について説明できる。 ２．インフォームドコンセントについて説明できる。 ３．医療現場でのコミュニケーションについて説明できる。
	準備学習	テキスト第10章の内容を確認しておく。	
第７回	鴨田剛司	情報管理と歯科技工	１．医療情報について説明できる。 ２．個人情報保護について説明できる。 ３．医療現場でのコミュニケーションについて説明できる。
	準備学習	テキスト第10章の内容を確認しておく。	
第８回	小松﨑　明	公衆衛生と歯科技工 講義のまとめ	１．歯科技工中の感染予防対策について説明できる。 ２．歯科技工過程で生じる廃棄物処理について説明できる。 ３．歯科技工所の環境汚染対策を説明できる。 ４．国家統計の結果の特徴を説明できる。 ５．歯科医療現場での多職種連携について説明できる。
	準備学習	テキスト全体の要点を確認しておく。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科技工士と関係法規	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
小松崎　明	第2学年	前期	火曜日	9:00～10:20

授業概要

歯科技工業務を遂行し、積極的に法を守る態度を養うため歯科技工士法、歯科技工士法、歯科医師法、医療法および衛生行政、保健衛生に関する法的な知識を修得する。

一般目標（GIO）

歯科医療の現場で円滑な医療を行うために、歯科技工士に必要な法的知識を身につける。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科技工管理学・全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

参考書

歯学生のための健康科学・小松崎明監修　一世出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての記述試験・多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。

オフィスアワー

毎回の講義日の放課後、18時まで（短大学長室）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	小松﨑　明	法の体系と意義	1.法規範としての法律の意義を説明する。 2.制度法、理念法、身分法などの法の種類を説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第２回	小松﨑　明	歯科技工士法　1	1.歯科技工士の免許について説明する。 2.歯科技工士の名称独占、業務独占について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第３回	小松﨑　明	歯科技工士法　2	1.歯科技工士の業務、義務、禁止行為について説明する。 2.歯科技工指示書について説明する。 3.歯科技工所について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第４回	小松﨑　明	歯科医師法・歯科衛生士法	1.歯科医師法の規定について説明する。 2.歯科衛生士法の規定について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第５回	小松﨑　明	医療法	1.医療法の規定について説明する。 2.医療機関の定義について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第６回	鴨田　剛司	医療保険制度と法	1.医療保険の法について説明する。 2.公的医療保険の保険者、被保険者について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第７回	鴨田　剛司	衛生行政の体系と法	1.医療提供の法的な解釈について説明する。 2.法による罰則について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章の内容を確認する。	
第８回	小松﨑　明	法令遵守と違法行為	1.違法行為の抑止対策について説明する。 2.個人情報保護について説明する。
	準備学習	例：テキスト第10章以降の内容を確認する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科技工学概論	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
関口　博一	第1学年	前期	火曜日	9:00～10:20

授業概要

歯科技工士として歯科医療に携わるために必要となる医療の仕組みや歯科技工業務について理解するとともに顎口腔系の機能とその回復方法、使用材料や器材の概要を学ぶ。

一般目標（GIO）

歯科医療における歯科技工学の意義と目的を理解するために、歯科医療の概要、歯科技工士の役割と倫理観および顎口腔系機能の基本的な知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工管理学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- ☐ PBL
- ☐ ディベート
- ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク
- ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（ 80 %）
- ☐ 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ☐ ポートフォリオ（　　%）
- ☐ 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（ 小テスト ）（ 20 %）

講義内容についての本試験（80%）と、講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	関口　博一	歯科医療の特性	1.医療の仕組みを説明する。 2.歯科医療、歯科技工の特異性を説明する。 3.歯科技工士の役割を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：１歯科医療と歯科技工、２歯科技工士の役割を読む	
第２回	関口　博一	顎口腔系の機能	1.顎口腔系の機能を説明する。 2.顎機能の加齢による変化を説明する。 3.顎機能の回復法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：３顔および口腔組織の形態と機能を読む	
第３回	関口　博一	口腔の審美性	1.歯科治療と審美性の関係を説明する。 2.機能性と審美性の関係を説明する。 3.補綴装置に求められる審美性を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：３顔および口腔組織の形態と機能を読む	
第４回	関口　博一	歯科材料、歯科技工物の安全性確保と管理	1.歯科材料の特徴、種類を説明する。 2.歯科技工物の安全管理と感染症予防対策を説明する。 3.歯科材料、機材に求められる安全性を説明する。 4.事故、院内感染の発生時の対応を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：５歯科臨床と歯科技工を読む	
第５回	関口　博一	歯科技工業務の運営と歯科技工の品質管理	1. 歯科技工の運営を説明する。 2. 歯科技工の品質管理・品質保証を説明する。 3. 歯科技工の品質管理に関する法令を説明する。 4. 歯科技工過程での安全対策と感染症対策を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：６歯科技工の管理と運営を読む	
第６回	関口　博一	歯科技工における衛生管理と危機管理	1. 口腔健康管理の目的と方法を説明する。 2. 介護予防対策の概要を説明する。 3. 歯科技工業務による感染症リスクを説明する。 4. 感染リスクがある石膏模型の取扱いを説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：６歯科技工の管理と運営、７口腔と全身管理を読む	
第７回	関口　博一	歯科技工士の就労とキャリア形成	1. 歯科技工士の就職状況、雇用、キャリア形成を説明する。 2. 歯科技工士の就労状況、ライフコースを説明する。 3. 口腔と全身との関連について説明する。 4. 全身に影響する口腔疾患や不良補綴物について説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：１歯科医療と歯科技工、２歯科技工士の役割を読む	
第８回	関口　博一	歯科技工概論のまとめ	1.歯科医療の概要を説明する。 2.歯科技工の変遷を説明する。 3.歯科技工士に関係する法規を列挙する。
	準備学習	教科書Ⅱ：10衛生行政、２歯科技工士法を読む	

授業科目名	授業形態	単位数
歯の解剖学	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第1学年	前期	水曜日	10:20～12:00

授業概要

歯の形態的特徴を理解するために、永久歯・乳歯の一般的形態に関する基礎的事項を身につけ、歯種間、上・下顎、左右側、および位置の違いにみられる形態的差異に関する知識を修得する。

一般目標（GIO）

歯科技工士の業務である製作物作製を適切に行うために、その基礎となるヒトの乳歯と永久歯の形態の特徴を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [○] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

参考書

歯の解剖学　第22版　金原出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100　%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	歯の概説（１）	１）歯の定義を述べる。 ２）歯の機能を述べる。 ３）歯の生物学的特性を述べる。 ４）歯の植立様式を述べる。 ５）歯の外形と内形を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学Ｐ２～Ｐ９までを熟読する。	
第２回	吉村　建	歯の概説（２）	１）歯の種類と分類を述べる。 ２）歯の記号と歯式を述べる。 ３）歯の名称を述べる。 ４）歯の形を概説する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P10～P20までを熟読する。	
第３回	吉村　建	永久歯の形態　切歯（１）	１）上顎中切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ３）上顎側切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）上顎側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P23～P28までを熟読する。	
第４回	吉村　建	永久歯の形態　切歯（２）	１）下顎中切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）下顎中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ３）下顎側切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P29～P31までを熟読する。	
第５回	吉村　建	永久歯の形態　犬歯	１）上顎犬歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎犬歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ３）下顎犬歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎犬歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ５）上下顎犬歯の形態的相違を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P32～P36までを熟読する。	
第６回	吉村　建	永久歯の形態　上顎小臼歯	１）上顎第一小臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎第一小臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ３）上顎第二小臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）上顎第二小臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ５）上顎第一小臼歯と第二小臼歯の形態的相違を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P37～P41までを熟読する。	
第７回	吉村　建	永久歯の形態　下顎小臼歯	１）下顎第一小臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）下顎第一小臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ３）下顎第二小臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎第二小臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ５）下顎第一小臼歯と第二小臼歯の形態的相違を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P42～P47までを熟読する。	

第８回	吉村　建	永久歯の形態　上顎大臼歯	１）上顎第一大臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎第一大臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ３）上顎第二大臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）上顎第二大臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ５）上顎第一大臼歯の後方推移を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P48～P53までを熟読する。	
第９回	吉村　建	永久歯の形態　下顎大臼歯	１）下顎第一大臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）下顎第一大臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ３）下顎第二大臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎第二大臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ５）下顎第一大臼歯の後方推移を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P54～P61までを熟読する。	
第10回	吉村　建	乳歯の形態　乳切歯	１）上顎乳中切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎乳中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ３）上顎乳側切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）上顎乳側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ５）下顎乳中切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ６）下顎乳中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ７）下顎乳側切歯の形態的特徴特徴を述べる。 ８）下顎乳側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P62～P63までを熟読する。	
第11回	吉村　建	乳歯の形態　乳犬歯	１）上顎乳犬歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎乳犬歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 ３）下顎乳犬歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎乳犬歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P66～P67までを熟読する。	
第12回	吉村　建	乳歯の形態　乳臼歯	１）上顎第一・第二乳臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ２）上顎第一・第二乳臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。 ３）下顎第一・第二乳臼歯の形態的特徴特徴を述べる。 ４）下顎第一・第二乳臼歯の頬・舌側、近・遠心・咬合面の形態的差異を列記する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P68～P72までを熟読する。	
第13回	吉村　建	歯の異常（１）	１）歯数の異常を述べる。 ２）大きさの異常を述べる。 ３）歯の重複を述べる。 ４）歯根の異常を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P92～P96までを熟読する。	

第14回	**吉村　建**	歯の異常（1）	1）歯の色調の異常を述べる。 2）歯の萌出異常を述べる。 3）歯の重複を述べる。 4）歯列弓の異常を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P97～P101までを熟読する。	
第15回	**吉村　建**	歯列・咬合	1）歯列を述べる。 2）歯列弓を述べる。 3）咬合彎曲を述べる。 4）隣在歯との関係を述べる。 5）上下歯列弓の位置関係を述べる。 6）切歯の咬合関係を述べる。 7）歯の植立を述べる。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P102～P109までを熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
顎顔面解剖学	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第2学年	前期	火曜日	9:00～10:20

授業概要

歯とその周辺組織の形態的特徴を理解するために、歯と歯周組織の微細構造と発生に関する基礎的知識を修得する。

一般目標（GIO）

歯科技工士の業務である製作物作製を適切に行うために、その基礎となるヒトの歯と歯周組織の微細構造および発生を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

参考書

口腔解剖学第2版　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	細胞と組織の発生と構造	細胞と組織と器官 胚葉の発生と器官の形成
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P73）の要点確認	
第２回	吉村　建	歯の発生	歯冠の発生・歯根の発生
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P74-76）の要点確認	
第３回	吉村　建	歯の萌出と脱落	歯の萌出・乳歯根の吸収と代生歯との交換
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P77-78）の要点確認	
第４回	吉村　建	歯の組織（１）	エナメル質・象牙質
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第５章（P79-82）の要点確認	
第５回	吉村　建	歯の組織（２）	セメント質・歯髄
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P83-84）の要点確認	
第６回	吉村　建	歯周組織（１）	歯根膜・歯槽骨
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P73）の要点確認	
第７回	吉村　建	歯周組織（２）	歯肉について
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P73）の要点確認	
第８回	吉村　建	歯や歯周組織の加齢現象	歯の加齢現象について 歯周組織の加齢現象について
	準備学習	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学第４章（P73）の要点確認	

授業科目名	授業形態	単位数
歯形彫刻概論	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第2学年	前期	金曜日	9:00～10:20

授業概要

歯の形態学的特徴を3次元的に理解する歯型彫刻に関連する基本知識を習得する。

一般目標（GIO）

歯の形態を3次元的に理解する歯型彫刻法を習得するため、必要な基本知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [ ] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

尾花甚一・細井紀雄　最新歯型彫刻　第2版　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

筆記試験（指定した歯における5面展開を描記する：100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	歯型彫刻の意義と目的 歯型彫刻の基本的な考え方と手法	１）歯型彫刻の意義と目的・基本的考え方を確認する。
	準備学習	最新歯型彫刻　Ｐ１～３、P32～47を熟読する。	
第２回	吉村　建	上顎中切歯・側切歯	１）左右上顎中切歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）左右上顎側切歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P48～49を熟読する。	
第３回	吉村　建	下顎中切歯・側切歯	１）左右下顎中切歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）左右下顎側切歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P55～56を熟読する。	
第４回	吉村　建	上・下顎犬歯	１）左右上顎犬歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）左右下顎犬歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P50、P57を熟読する。	
第５回	吉村　建	上顎小臼歯	１）左右上顎第一小臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）左右上顎第二小臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P51、P52を熟読する。	
第６回	吉村　建	下顎小臼歯	１）左右下顎第一小臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）左右下顎第二小臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P58、P59を熟読する。	
第７回	吉村　建	上顎大臼歯	１）左側上顎大臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）右側上顎大臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P53、54を熟読する。	
第８回	吉村　建	下顎大臼歯	１）左側下顎大臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。 ２）右側下顎大臼歯に関し、５面展開図を用い学ぶ。
	準備学習	最新歯型彫刻　P60、61を熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
口腔解剖学実習	実習	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第1学年	前期	火曜日	13:00～16:00

授業概要

顎顔面口腔領域を構成する頭蓋骨模型のスケッチを実施することで、頭頸部の解剖学的知識を確認する。

一般目標（GIO）

顎顔面口腔領域を理解するために、口腔顎顔面領域の形態学的構造について修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

参考書

分担解剖学　第一巻　骨学・筋学　金原出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（30%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（70%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

頭蓋骨に関するスケッチの評価（70%）及び頭蓋領域の骨学に関する筆記試験（MCQ：30%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	頭蓋前面の観察・スケッチ	１）頭蓋前面観の観察を行う。 ２）頭蓋前面観と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P114までを熟読する。	
第２回	吉村　建	眼窩の観察とスケッチ	１）眼窩の観察を行う。 ２）眼窩と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P114、130～P133を熟読する。	
第３回	吉村　建	頭蓋側面の観察・スケッチ	１）頭蓋側面観の観察を行う。 ２）頭蓋側面観と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P114までを熟読する。	
第４回	吉村　建	頭蓋冠上面の観察・スケッチ	１）頭蓋冠上面観の観察を行う。 ２）頭蓋冠上面観と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P114までを熟読する。	
第５回	吉村　建	頭蓋冠後面の観察・スケッチ	１）頭蓋冠後面観の観察を行う。 ２）頭蓋冠後面観と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P114までを熟読する。	
第６回	吉村　建	内頭蓋底の観察・スケッチ	１）内頭蓋底の観察を行う。 ２）内頭蓋底と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P129～P131までを熟読する。	
第７回	吉村　建	外頭蓋底の観察・スケッチ	１）外頭蓋底の観察を行う。 ２）外頭蓋底と構成する頭蓋骨のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P129～P132までを熟読する。	
第８回	吉村　建	小児頭蓋の観察とスケッチ	１）小児頭蓋の観察を行う。 ２）大専門・少専門のスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P127～P128までを熟読する。	
第９回	吉村　建	脳頭蓋骨の観察とスケッチ① １）後頭骨 ２）蝶形骨 ３）頭頂骨	１）後頭骨の観察とスケッチを行う。 ２）蝶形骨の観察とスケッチを行う。 ３）頭頂骨の観察とスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P114～P116までを熟読する。	
第10回	吉村　建	脳頭蓋骨の観察とスケッチ② １）側頭骨 ２）前頭骨 ３）篩　骨	１）後頭骨の観察とスケッチを行う。 ２）蝶形骨の観察とスケッチを行う。 ３）頭頂骨の観察とスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P116～P119までを熟読する。	
第11回	吉村　建	脳頭蓋骨の観察とスケッチ③ １）下鼻甲介 ２）涙　骨 ３）鼻　骨	１）側頭骨の観察とスケッチを行う。 ２）前頭骨の観察とスケッチを行う。 ３）篩　骨の観察とスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P119～P120までを熟読する。	

第12回	**吉村　建**	顔面頭蓋骨の観察とスケッチ　① 1）上顎骨	1）上顎骨の観察とスケッチを行う
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P120～P122までを熟読する。	
第13回	**吉村　建**	顔面頭蓋骨の観察とスケッチ　② 1）下顎骨	1）下顎骨の観察とスケッチを行う
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P123～P126までを熟読する。	
第14回	**吉村　建**	顔面頭蓋骨の観察とスケッチ　③ 1）頬　骨 2）口蓋骨 3）舌　骨	1）頬骨の観察とスケッチを行う。 2）口蓋骨の観察とスケッチを行う。 3）舌骨の観察とスケッチを行う。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P122～P126までを熟読する。	
第15回	**吉村　建**	鼻腔と副鼻腔の観察とスケッチ	1）頭蓋折半模型を使い、副鼻腔の観察とスケッチを行う 前頭洞・篩骨洞・蝶形骨洞・上顎洞
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P131～P135までを熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
顎顔面解剖学演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第2学年	前期	水曜日	13:00～16:00

授業概要

顎顔面口腔領域を構成する骨、筋、顎関節、口腔の形態を認識し、器官相互の関連性を模型・粘土を用いて3次元的に理解する。

一般目標（GIO）

歯科技工士の業務である製作物の作製を適切に行うために、その基礎となる顎顔面口腔領域の解剖学的特徴を3次元的に理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

参考書

口腔解剖学第2版　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100　　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した顎顔面口腔領域の解剖学的特徴についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	頭蓋の骨（１） 脳頭蓋骨	１）脳頭蓋を構成する骨を模型を使い述べる。 後頭骨・蝶形骨・頭頂骨・側頭骨・前頭骨・篩骨・鋤骨・下鼻甲介・涙骨・鼻骨
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P112～P119までを熟読する。	
第２回	吉村　建	頭蓋の骨（２） 顔面頭蓋	１）顔面頭蓋を構成する骨を模型を使い述べる。 上顎骨・頬骨・口蓋骨・下顎骨・舌骨
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P120～P126までを熟読する。	
第３回	吉村　建	口腔周囲の筋（１） 浅頭筋・深頭筋	１）浅頭筋を表情筋模型を用い、説明する。 ２）深頭筋を粘土を貼付した頭蓋模型を用い、説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P136～P140までを熟読する。	
第４回	吉村　建	口腔周囲の筋（２） 舌骨筋群	粘土を貼付した頭蓋模型を用い、舌骨筋を説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P140～P143までを熟読する。	
第５回	吉村　建	顎関節	１）顎関節の構造を頭蓋模型を用い、説明する。 ２）下顎の運動を頭蓋模型を用い、説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P144～P147までを熟読する。	
第６回	吉村　建	口腔（１）	１）口腔の隣接器官を説明する。 ２）口腔を説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P148～P150までを熟読する。	
第７回	吉村　建	口腔（２）	１）口蓋を説明する。 ２）唾液腺を説明する。 ３）舌を説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P151～P156までを熟読する。	
第８回	吉村　建	口腔（３）喉頭と咽頭	１）咽頭を模型を用い説明する。 ２）喉頭を模型を用い説明する。
	準備学習	口腔・顎顔面解剖学P157～P160までを熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯形彫刻実習	実習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
吉村　建	第2学年	前期	水曜日	13:00～16:00

授業概要

永久歯の歯冠形態を再現するために、上顎前歯、上下顎臼歯の計測、スケッチ、彫刻を実施する。

一般目標（GIO）

歯型彫刻法により歯の形態を3次元的に理解し、形態学的基本知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

尾花基一・細井紀雄　最新歯型彫刻　第2版　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（20%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（80%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての提出物（歯型彫刻）（80点）および彫刻手法の理解度に関する多選択肢形式筆記試験（20点）

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	吉村　建	歯型彫刻の意義と目的 歯型彫刻の基本的な考え方と手法	１）歯型彫刻の意義と目的を理解する。 ２）歯型彫刻の基本的考え方を学ぶ。 ３）切り出しナイフにより角柱を作製する。
	準備学習	最新歯型彫刻　Ｐ１～３、P32～54を熟読する。	
第２回	吉村　建	上顎右側中切歯の歯型彫刻（１）	１）外形のスケッチに必要な器材を準備する。 ２）上顎右側中切歯の模型の各部の計測を行う。 ２）計測値をもとに上顎右側中切歯の外形を彫刻棒にデッサンする。
	準備学習	最新歯型彫刻　Ｐ４～５、P32～101を熟読する。	
第３回	吉村　建	上顎右側中切歯の歯型彫刻（２）	１）デッサンより上顎右側中切歯の概形を彫刻する。 ２）切り出しナイフ･彫刻刀の把持と指の支点を確認する。 ３）上顎右側中切歯の歯型彫刻の概形を完成させる。
	準備学習	最新歯型彫刻　Ｐ４～５、P32～101を熟読する。	
第４回	吉村　建	上顎右側中切歯の歯型彫刻（３）	１）上顎右側中切歯の仕上げ彫刻を行い、彫刻を完成させる。
	準備学習	最新歯型彫刻　Ｐ４～５、P32～101を熟読する。	
第５回	吉村　建	上顎右側第一大臼歯の歯型彫刻（１）	１）上顎右側第一大臼歯の模型の各部の計測を行う。 ２）計測値をもとに上顎右側第一大臼歯の外形を彫刻棒にデッサンする。 ３）デッサンより上顎右側第一大臼歯の概形を彫刻する。
	準備学習	最新歯型彫刻　P14～15、P32～101を熟読する。	
第６回	吉村　建	上顎右側第一大臼歯の歯型彫刻（２）	１）上顎右側第一大臼歯の仕上げ彫刻を行い、彫刻を完成させる。
	準備学習	最新歯型彫刻　P14～15、P32～101を熟読する。	
第７回	吉村　建	下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻（１）	１）下顎右側第一大臼歯の模型の各部の計測を行う。 ２）計測値をもとに下顎右側第一大臼歯の外形を彫刻棒にデッサンする。 ３）デッサンより下顎右側第一大臼歯の概形を彫刻する。
	準備学習	最新歯型彫刻　P28～29、P32～54を熟読する。	
第８回	吉村　建	下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻（２）	１）下顎右側第一大臼歯の仕上げ彫刻を行い、彫刻を完成させる。
	準備学習	最新歯型彫刻　P28～29、P32～54を熟読する。	

授業科目名	授業形態	単位数
顎口腔機能学Ⅰ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第1学年	前期	火曜日	9:00～10:20

授業概要

歯科治療の目的は口腔の諸機能の回復と残存組織の保全の両立を図ることであり、患者さんの顎口腔系の形態ならびに機能のいずれにおいても調和した安全な治療を行うことが重要となる。本講義では、歯科補綴治療の目的を達成するために必要な顎口腔系の形態と機能を理解し、そのうえで患者固有の形態と機能に調和した補綴装置とはどのようなものかを考える。

一般目標（GIO）

顎口腔系の形態と機能に調和した補綴装置を製作するために、基本的な形態と機能を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　顎口腔機能顎第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（80%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（小テスト）（20%）

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹	顎口腔系の形態（１）	１.咬合彎曲の種類を説明する。 ２.顎口腔系を構成する骨を説明する。 ３.顎口腔系に関係する筋を説明する。
	準備学習	教科書１：１歯と歯列、２顎口腔系を構成する骨、３顎口腔系に関係する筋を読む。	
第２回	浅沼　直樹	顎口腔系の形態（２）	１.顎関節の構造を説明する。 ２.顎関節の機能を説明する。 ３.顎口腔系の神経支配を説明する。
	準備学習	教科書１：４顎関節、５その他の軟組織、６顎口腔系の神経支配を読む。	
第３回	浅沼　直樹	顎口腔系の機能（１）	１.顎口腔系の機能を説明する。 ２.下顎運動の分析に関係する基準点を説明する。 ３.下顎運動の分析に関係する基準面を説明する。
	準備学習	教科書２：１顎口腔系とその機能～３下顎運動の分析に関係する基準点・基準面までをを読む。	
第４回	浅沼　直樹	顎口腔系の機能（２）	１.咬合平面を説明する。 ２.フランクフルト平面を説明する。 ３.カンペル平面を説明する。 ４.ボンウィル三角を説明する。 ５.バルクウィル角を説明する。
	準備学習	教科書２：４咬合に関する平面を読む。	
第５回	浅沼　直樹	下顎位	１.咬頭嵌合位を説明する。 ２.中心位を説明する。 ３.下顎安静位を説明する。 ４.偏心咬合位を説明する。
	準備学習	教科書３：１下顎位を読む。	
第６回	浅沼　直樹	下顎運動（１）	１.下顎運動の種類を説明する。 ２.下顎の基本運動を説明する。
	準備学習	教科書４：１下顎運動の種類、２下顎の基本運動を読む。	
第７回	浅沼　直樹	下顎運動（２）	１.ポッセルトの図形を説明する。 ２.咀嚼時の下顎運動を説明する。 ３.嚥下時の下顎運動を説明する。 ４.発音時の下顎運動を説明する。
	準備学習	教科書４：３下顎の限界運動、４下顎の機能運動を読む。	
第８回	浅沼　直樹	まとめ	１.顎口腔系の形態と機能について説明する。 ２.下顎位と下顎運動について説明する。
	準備学習	教科書１顎口腔系の形態～４下顎運動までを読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
顎口腔機能学Ⅱ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第1学年	後期	火曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科治療の目的は口腔の諸機能の回復と残存組織の保全の両立を図ることであり、患者さんの顎口腔系の形態ならびに機能のいずれにおいても調和した安全な治療を行うことが重要となる。本講義では、歯科補綴治療の目的を達成するために必要な顎口腔系の形態と機能を理解し、そのうえで患者固有の形態と機能に調和した補綴装置とはどのようなものかを考える。

一般目標（GIO）

顎口腔系の形態と機能に調和した補綴装置を製作するために、基本的な形態と機能を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

	①	地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
	②	豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
○	③	歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
○	④	歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
	⑤	長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

○	①	全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
	②	高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
	③	協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
○	④	専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
○	⑤	国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　顎口腔機能顎第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

	PBL		ディベート		ディスカッション
	フィールドワーク		プレゼンテーション		
	その他（　　）				

成績評価の方法と割合

○	定期試験（80%）		提出物（ノート・レポート）（　　%）
	ポートフォリオ（　　%）		成果発表（口頭・実技）（　　%）
○	その他（小テスト）（20%）		

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹	歯の接触様式（１）	１.機能咬頭と非機能咬頭を説明する。 ２.カスプトゥフォッサを説明する。 ３.カスプトゥリッジを説明する。
	準備学習	教科書５：１歯の形態と機能、２咬頭嵌合位における咬合接触を読む。	
第２回	浅　沼直樹	歯の接触様式（２）	１.犬歯誘導咬合を説明する。 ２.グループファンクションを説明する。 ３.両側性平衡咬合を説明する。 ４.咬頭干渉の種類を説明する。
	準備学習	教科書５：３偏心位における咬合接触（咬合様式）、４咬合干渉を読む。	
第３回	浅沼　直樹	咬合器（１）	１.咬合器の使用目的を説明する。 ２.咬合器の機構と分類を説明する。
	準備学習	教科書６：１咬合器の使用目的、２咬合器の機構と分類を読む。	
第４回	浅沼　直樹	咬合器（２）	１.フェイスボウトランスファーを説明する。 ２.チェックバイト法を説明する。
	準備学習	教科書６：３フェイスボウトランスファー、４咬合採得を読む。	
第５回	浅沼　直樹	咬合器（３）	１.上顎模型の咬合器装着法説明する。 ２.下顎模型の咬合器装着法を説明する。 ３.咬合器の顆路調節法を説明する。
	準備学習	教科書６：５咬合器の使用手順を読む。	
第６回	浅沼　直樹	咬合検査	１.咬合紙検査法を説明する。 ２.咬合接触圧検査法を説明する。
	準備学習	教科書７：１咬合検査を読む。	
第７回	浅沼　直樹	顎機能障害	１.顎機能障害の種類とその対応法を説明する。 ２.アプライアンス治療を説明する。
	準備学習	教科書７：２顎機能障害を読む。	
第８回	浅沼　直樹	まとめ	１.歯の接触様式を説明する。 ２.咬合器の種類と使用手順を説明する。 ３.咬合検査法を説明する。 ４.学機能障害を説明する。
	準備学習	教科書５歯の接触様式～７咬合検査と顎機能障害を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
顎口腔機能学演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第1学年	後期	水曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科治療の目的は口腔の諸機能の回復と残存組織の保全の両立を図ることであり、患者さんの顎口腔系の形態ならびに機能のいずれにおいても調和した安全な治療を行うことが重要となる。本演習では講義で修得した顎機能と補綴物の形態の関係を実際に補綴装置製作に用いる器材を使用して理解し、顎機能を補綴装置の形態や咬合にどのように適用するかを習得する。

一般目標（GIO）

顎口腔系の形態と機能に調和した補綴装置を製作するために、補綴装置の製作法と治療用器材の使用法を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　顎口腔機能顎第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版、配布資料

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（20%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [○] 成果発表（口頭・実技）（60%）
- [○] その他（小テスト）（20%）

演習内容についての実技試験（60%）、課題レポートの内容（20%）および演習の際の小テスト（10%）により評価を行う。実技試験は必要に応じて再試験・追試験を実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹	咬合彎曲と咬合様式の診査	1.咬合平面の彎曲度を分析する。 2.偏心位の接触様式の診査を実施する。
	準備学習	教科書１：１歯と歯列と５：１歯の形態と機能を読む。	
第２回	浅沼　直樹	咬頭嵌合位における咬合接触	1.カスプトゥフォッサを説明する。 2.カスプトゥリッジを説明する。 3.ペインティング模型を適切に製作する。
	準備学習	教科書５：２咬頭嵌合位における咬合接触～４咬合干渉までを読む。	
第３回	浅沼　直樹	概形印象採得	1.概形印象採得を実施する。 2.研究用模型を製作する。
	準備学習	配布資料を読む。	
第４回	浅沼　直樹	下顎運動の検査	1.ゴシックアーチ描記法を実施する。 2.顆頭運動描記を実施する。
	準備学習	教科書４：１下顎運動の種類～４下顎の機能運動までを読む。	
第５回	浅沼　直樹	咬合器の種類と取り扱い	1.咬合器の種類を説明する。 2.咬合器の特徴を説明する。 3.咬合器の取り扱いを実施する。
	準備学習	教科書６：１咬合器の使用目的、２咬合器の機構と分類を読む。	
第６回	浅沼　直樹	フェイスボウトランスファーと上顎模型の咬合器装着	1.フェイスボウトランスファーを実施する。 2.状顎模型の咬合器装着を実施する。
	準備学習	教科書６：３フェイスボウトランスファーを読む。	
第７回	浅沼　直樹	下顎模型の咬合器装着と顆路調節（1）	1.下顎模型の咬合器装着を実施する。 2.アンテリアジグの製作法を説明する。 3.チェックバイトの採得法を説明する。.
	準備学習	教科書６：４咬合採得、５咬合器の使用手順を読む。	
第８回	浅沼　直樹	下顎模型の咬合器装着と顆路調節（2）	1.チェックバイトで顆路調節を実施する。 2.顆路角の読み取りを実施する。
	準備学習	教科書６：４咬合採得、５咬合器の使用手順を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科理工学Ⅰ	講義	4

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
大熊　一夫	第1学年	前期	木曜日	13:00～14:20

授業概要

口腔内における機能性、審美性及び安全性を有する補綴装置を製作するため、歯科技工士として必要である歯科材料の組成、特性及びそれらの使用方法について理解する。また、歯科技工に用いる機械・器具について、基本的な知識を修得・理解する。

一般目標（GIO）

歯科材料を適切に選択し，取り扱うことのできる歯科技工士となるために，各種歯科材料の用途，基本組成，構造，性質を理解し，適正な材料の選択基準ならびに取扱い方法を修得する。さらに，修復物を製作するための成形・加工技術と特徴を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

歯科理工学教授室（5号館3階）（ga-riko@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	大熊一夫	歯科技工と歯科理工学	１）授業の概要について述べる。 ２）歯科理工学の意義と目的を述べる。 ３）歯科材料の果たす役割を説明する。 ４）歯科用装置の製作過程を説明する。 ５）歯科技工の安全性と環境を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第２回	大熊一夫	歯科材料の性質①	１）物理的性質を説明する。 ２）化学的性質を説明する。 ３）材料の生体刺激性，アレルギーを列挙する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第３回	大熊　一夫	歯科材料の性質②	１）応力とひずみを説明する。 ２）応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を述べる。 ３）塑性変形を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第４回	大熊　一夫	歯科材料の性質③	１）強さの種類，性質を説明する。 ２）硬さの種類，性質を説明する。 ３）粘弾性を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第５回	大熊　一夫	歯科材料の性質④	１）硬さの試験方法を分類する。 ２）硬さ試験法ごとの特徴を説明する。 ３）それぞれの試験からわかる材料の性質を説明する。 ４）歯科材料に必要な特性と関連付ける。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第６回	大熊　一夫	印象と模型製作①	１）印象材の分類を説明する。 ２）印象材の種類を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第７回	大熊　一夫	印象と模型製作②	１）印象材の一般的性質を説明する。 ２）印象材と模型材との関係を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第８回	大熊　一夫	原型製作	１）歯科用ワックスの種類と用途を述べる。 ２）歯科用ワックスの組成を説明する。 ３）歯科用ワックスの性質を説明する。 ４）ワックス以外の原型材料を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第９回	大熊　一夫	レジン成形①	１）義歯床用レジンの概要を述べる。 ２）加熱重合レジンの概要を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第10回	大熊　一夫	レジン成形②	１）常温重合レジンの概要を述べる。 ２）その他の義歯床用の概要を述べる。 ３）填入・成形法の概要を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

第11回	**大熊　一夫**	レジン成形③	1）義歯床関連材料の性質を説明する。 2）歯冠用硬質レジンの性質を説明する。 3）CAD/CAM用コンポジットレジンの性質を説明する。 4）その他のレジンの性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第12回	**大熊　一夫**	セラミック成形①	1）歯冠用セラミックスの性質を説明する。 2）長石系陶材の性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第13回	**大熊　一夫**	セラミック成形②	1）長石系陶材の性質を説明する。 2）金属焼付用陶材の性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第14回	**大熊　一夫**	セラミック成形③	1）加熱加圧型セラミックスの性質を説明する。 2）ジルコニアの性質を説明する。 3）その他のセラミック材料の性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第15回	**大熊　一夫**	復習	1）問題演習により前期に学習した内容の理解度を認識する。 2）知識の定着を図るための自己学習方略を述べる。
	準備学習	前期に学修した教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科理工学Ⅰ	講義	4

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
大熊　一夫	第1学年	後期	木曜日	10:20～12:00

授業概要

口腔内における機能性、審美性及び安全性を有する補綴装置を製作するため、歯科技工士として必要である歯科材料の組成、特性及びそれらの使用方法について理解する。また、歯科技工に用いる機械・器具について、基本的な知識を修得・理解する。

一般目標（GIO）

歯科材料を適切に選択し，取り扱うことのできる歯科技工士となるために，各種歯科材料の用途，基本組成，構造，性質を理解し，適正な材料の選択基準ならびに取扱い方法を修得する。さらに，修復物を製作するための成形・加工技術と特徴を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

歯科理工学教授室（5号館3階）（ga-riko@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第16回	大熊　一夫	金属成形①	1）歯科用合金の性質を説明する。 2）金合金の性質を説明する。 3）銀合金の性質を説明する。 4）各種金属の性質について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第17回	大熊　一夫	金属成形②	1）鋳造について説明する。 2）鋳造理論を述べる。 3）埋没材について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第18回	大熊　一夫	金属成形③	1）鋳造について説明する。 2）埋没操作について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第19回	大熊　一夫	金属成形④	1）鋳造について説明する。 2）鋳型の過熱について説明する。 3）鋳造操作について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第20回	大熊　一夫	金属成形⑤	1）鋳造について説明する。 2）鋳造欠陥について説明する。 3）適合不良について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第21回	大熊　一夫	金属成形⑥	1）歯科精密鋳造の特色を説明する。 2）金属の加工について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第22回	大熊　一夫	金属成形⑦	1）金属の接合について説明する。 2）合金の熱処理について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第23回	大熊　一夫	その他の歯科材料	1）合着材・接着材について説明する。 2）成形修復材について説明する。 3）インプラント材料について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第24回	大熊　一夫	補綴装置と修復物の仕上げ①	1）仕上げの意義と目的を述べる。 2）成形体の仕上げについて説明する。 3）機械研磨について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第25回	大熊　一夫	補綴装置と修復物の仕上げ②	1）化学研磨について説明する。 2）圧延による表面仕上げについて説明する。 3）材料添加による表面仕上げについて説明する。 4）研磨効率について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

第26回	大熊　一夫	補綴装置と修復物の仕上げ③	1）切削・研削・研磨に用いられる器械・器具について説明する。 2）各種補綴装置と修復物の研磨方法について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第27回	大熊　一夫	新しい加工技術	1）CADについて説明する。 2）CAMについて説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第28回	大熊　一夫	補綴装置と修復物の安定性	1）レジンの性質について説明する。 2）セラミックスの性質について説明する。 3）金属の性質について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第29回	大熊　一夫	復習①	1）問題演習により前期に学習した内容の理解度を認識する。 2）知識の定着を図るための自己学習方略を述べる。
	準備学習	後期に学修した教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第30回	大熊　一夫	復習②	1）問題演習により前期に学習した内容の理解度を認識する。 2）知識の定着を図るための自己学習方略を述べる。
	準備学習	一年間で学修した教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科理工学Ⅱ	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
大熊　一夫	第2学年	前期	金曜日	10:20～12:00

授業概要

歯科理工学における各論分野を理解するため、第1学年で学習した内容をさらに深めると同時に、他の科目の講義や実習で得た歯科材料に関する知識と経験を総合的に修得する。

一般目標（GIO）

歯科材料を適切に選択し，取り扱うことのできる歯科医師となるために，歯科理工学Ⅰで学習した内容を掘り下げ，技工物を製作するための成形・加工技術と特徴を深く理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

歯科理工学教授室（5号館3階）（ga-riko@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	大熊　一夫	歯科材料の性質①	１）材料の機械的特性と物理的性質を説明する。 ２）生体材料に要求される化学的・生物学的性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第２回	大熊　一夫	歯科材料の性質②	１）歯科技工に必要な接着の原理と方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第３回	大熊　一夫	印象と模型製作①	１）印象材の種類と所用性質を説明する。 ２）印象材に必要な物理的・化学的性質を説明する。 ３）印象材と模型との関係を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第４回	大熊　一夫	印象と模型製作②	１）石膏の種類を列挙できる ２）石膏の物理的性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第５回	大熊　一夫	原型製作	１）原型材料の種類と用途を説明する。 ２）ワックスの組成と性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第６回	大熊　一夫	レジン成形①	１）義歯床用レジンの種類、組成及び性質を説明する。 ２）義歯床用レジンの重合法と重合反応を説明する。 ３）義歯床用レジンの成形法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第７回	大熊　一夫	レジン成形②	１）レジン材料の用途を説明する。 ２）人工歯の種類と性質を説明せきる ３）義歯裏装材の種類と性質を説明する。 ４）歯冠用硬質レジンの組成と性質を説明する。 ５）歯冠用硬質レジンと金属との接着の原理・方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第８回	大熊　一夫	セラミック成形①	１）歯冠用陶材の種類と組成を列挙する。 ２）歯冠用陶材の成形法を説明する。 ３）歯冠用陶材の性質を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第９回	大熊　一夫	セラミック成形②	１）金属焼付用陶材における金属との結合を説明する。 ２）オールセラミッククラウン用陶材の種類と成形法を説明する。 ３）ジルコニアの種類と成形法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第10回	大熊　一夫	金属成形①	１）合金の所要性質を説明する。 ２）各種金属体の種類、組成、性質及び用途を説明する。 ３）鋳造収縮と補正を説明する。 ４）埋没材の種類・性質、埋没操作及び鋳型加熱を説明する。 ５）合金の融解と鋳込み方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

第11回	**大熊　一夫**	金属成形②	1）鋳造機の種類を列挙できる 2）鋳造欠陥の種類、原因及び対策を説明する。 3）合金の接合方法を説明する。 4）レーザー溶接の原理と使用方法を説明する。 5）合金の加工法を熱処理を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第12回	**大熊　一夫**	補綴装置と修復物の仕上げ	1）表面仕上げの意義と目的を説明する。 2）切削・研削・研磨用材料と機械の取り扱い方を説明する。 3）研磨の原理と方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第13回	**大熊　一夫**	新しい加工技術①	1）歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第14回	**大熊　一夫**	新しい加工技術②	1）歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書の該当ページに目を通しておくこと。	
第15回	**大熊　一夫**	復習	1）問題演習により前期に学習した内容の理解度を認識する。 2）知識の定着を図るための自己学習方略を述べる。
	準備学習	授業で学修した教科書の該当ページに目を通しておくこと。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科理工学Ⅲ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
大熊　一夫	第2学年	後期	火曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科理工学の総論的事項と各論的事項を身につけるためアウトプットメインの講義形態とし、包括的に内容を理解する。

一般目標（GIO）

歯科理工学の総論的事項と各論的事項を修得するために、歯科技工の手順と各種材料についての問題を解き、その内容を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

歯科技工士国家試験過去問題　等

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（100%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

歯科理工学教授室（5号館3階）（ga-riko@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般に目を通しておくこと。	
第２回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回配布した問題に目を通しておくこと。	
第３回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	
第４回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	
第５回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	
第６回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	
第７回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	
第８回	大熊　一夫	問題演習解説講義	問題演習の結果をもとに自己分析を行い，歯科理工学とそれに関連する事柄を有機的に連携させるための学習方略を説明する。
	準備学習	教科書全般及び前回の授業で解いた問題に目を通しておくこと。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯科理工学実習	実習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
大熊　一夫	第1学年	前期	金曜日	13:00～16:00

授業概要

生体に対して安全で、適合性に優れた補綴物を製作するために、歯科用材料個々の特性を実験により理解する。また、論理的思考を身につけるために、実験結果をグラフ化し、考察する。

一般目標（GIO）

歯科材料を適切に選択し，取り扱うことのできる歯科技工士となるために，歯科理工学の講義で履修した知識を有機的に結びつけ，各種歯科材料の種類，使用工程と基本的な取扱い方法，および使用条件による物性の変化を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（ 80 %）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（　論述試験　）（ 20 %）

行動目標で示した項目についての毎回の課題（レポート）（80%），論述試験（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

曜日：実習翌日　時間帯：17:00～18:00　場所：歯科理工学教授室（5号館3階）（ga-riko@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	大熊　一夫	印象と模型（１）	１）印象材の適切な練和操作をする。 ２）弾性ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。 ３）永久ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第２回	大熊　一夫	印象と模型（２）	１）模型用石膏を適切に操作する。 ２）模型の精度に影響する印象材の性質を説明する。 ３）模型用石膏の硬化時の状態変化と硬化時間との関係を述べる。 ４）硬質石膏と超硬質石膏との硬化膨張の違いを説明する。 ５）模型用石膏の硬化膨張と模型の寸法精度との関係を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第３回	大熊　一夫	加熱重合レジン（１）	１）温度が異なる環境時における加熱重合レジンの粉・液の膨潤状態を調べる。 ２）加熱重合レジンの重合機序について説明する。 ３）填入に適した膨潤状態について説明する。 ４）重合収縮に対する改善方法を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第４回	大熊　一夫	加熱重合レジン（２）	１）加熱重合レジンの湿･乾重合時の温度上昇を測定する。 ２）異なる条件で重合したくさび状加熱重合レジンの気泡の発生状態を調べる。 ３）重合したくさび状レジンから，気泡の発生理由を説明する。 ４）キュアリングサイクルについて説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第５回	大熊　一夫	常温重合レジン	１）常温重合レジンの硬化時間，温度上昇，重合収縮率を測定する。 ２）常温重合レジンの重合機序について説明する。 ３）硬化時間と重合度について説明する。 ４）重合収縮とフィラーの関連について説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第６回	大熊　一夫	ワックスパターンの変形	１）ワックスを操作する。 ２）クラウン型のワックスパターンの作製に熟練する。 ３）放置環境によるワックスパターンの変形量の違いを調べる。 ４）変形の少ないワックスパターンの取扱い方法を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	

第７回	**大熊　一夫**	歯科精密鋳造（１）	１）クラウン型のワックスパターンを作製する。 ２）ワックスパターンを植立する。 ３）ワックスパターンを埋没する。 ４）鋳造操作について説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第８回	**大熊　一夫**	歯科精密鋳造（２）	１）ワックスを焼却して鋳型を作製する。 ２）ブローパイプ炎で合金を溶解して，鋳造する。 ３）クラウンの鋳造収縮を測定する。 ４）鋳造収縮の補償理論について説明する。
	準備学習	実習内容と関連する教科書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	

授業科目名

総合講義（専門基礎分野）

授業形態

講義

単位数

1

授業責任者

各科目担当者

学年	学期	曜日
第2学年	後期	

授業時間

月曜日・火曜日　13:00～16:00
水曜日　9:00～16:00

授業概要

歯科技工士国家試験を受験するにあたり、今まで科目単位で学んできた知識を専門職として必要な知識、すなわち「歯科技工学」として各自が統合を行う。歯科技工士国家試験を見据え、より深い知識を履修・復習する。

一般目標（GIO）

歯科技工士国家試験に合格するため、三年間の総復習を行い、より深い知識を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

各教科教本

参考書

各教科教本

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

☐ PBL　☐ ディベート　☐ ディスカッション
☐ フィールドワーク　☐ プレゼンテーション
☐ その他（　　）

成績評価の方法と割合

☐ 定期試験（　　%）　☐ 提出物（ノート・レポート）（　　%）
☐ ポートフォリオ（　　%）　☐ 成果発表（口頭・実技）（　　%）
○ その他（卒業試験及び実技試験）（100%）

卒業試験及び実技試験に合格した者には単位を認定する

オフィスアワー

各科目担当者のメールアドレス
※事前にメールで要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第２回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第３回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第４回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第５回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第６回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第７回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第８回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第９回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第11回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第12回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第13回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第14回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第15回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第16回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第17回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第18回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第19回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第20回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第21回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第22回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第23回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第24回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第25回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第26回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第27回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第28回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第29回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第30回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第31回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第32回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第33回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第34回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第35回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第36回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第37回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第38回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第39回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第40回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第41回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第42回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第43回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第44回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第45回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学Ⅰ	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
水橋　亮	第1学年	前期	木曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全であり、その治療対象は極めて広く治療内容も多種多様である。本演習では、まず歯科補綴治療の目的を達成するために必要な顎口腔系の形態と機能を理解し、そのうえで患者固有の形態と機能に調和した補綴装置とはどのようなものかを考える。また、有床義歯製作の治療手順を学び、各臨床ステップにおける技工操作法と器材の取り扱い法について修得する。

一般目標（GIO）

歯の欠損による顎口腔機能と形態の障害を回復するために、有床義歯治療の臨床術式および技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（80　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（小テスト）（20　%）

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	水橋　亮	有床義歯技工学概説	1.有床義歯技工学の意義と目的を説明する。 2.有床義歯の種類と特徴を説明する。 3.有床義歯とブリッジとの相違を説明する。
	準備学習	教科書Ⅰ：１歯科技工学概説を読む。	
第２回	水橋　亮	生体についての基礎知識	1.有床義歯技工に関連する形態的基礎知識を述べる。 2.有床義歯技工に関連する機能的基礎知識を述べる。 3.有床義歯技工にい関連する審美的基礎知識を述べる。
	準備学習	教科書Ⅰ：２有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識を読む。	
第３回	水橋　亮	全部床義歯の特性と製作順序印象採得に伴う技工作業	1.全部床義歯の構成要素を説明する。 2.全部床義歯の種類と特徴を説明する。 3.全部床義歯の維持、支持および安定について説明する。 4.全部床義歯の製作順序を説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：３全部床義歯の特性、４全部床義歯の製作順序を読む。	
第４回	水橋　亮	全部床義歯の印象採得と合採得に伴う技工作業	1.無歯顎の印象採得とトレーについて説明する。 2.精密印象と作業用模型について説明する。 3.咬合床について説明する。 4.作業用模型の咬合器装着について説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：５全部床義歯の印象採得に伴う技工作業、６咬合採得に伴う技工作業を読む。	
第５回	水橋　亮	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成（１）	1.人工歯の種類を説明する。 2.人工歯排列法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第６回	水橋　亮	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成（２）	1.歯肉形成法を説明する。 2.ろう義歯の試適内容を説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第７回	水橋　亮	全部床義歯の埋没と重合	1.埋没の前準備を説明する。 2.埋没法について説明する。 3.流ろう法について説明する。 4.義歯床用レジンの重合法について説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：８全部床義歯の埋没と重合を読む。	
第８回	水橋　亮	全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	1.咬合器への再装着法を説明する。 2.人工歯の削合法について説明する。 3.研磨の目的と要点を説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：９全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第９回	水橋　亮	部分床義歯の特性と構成要素（１）	1.部分床義歯の構成要素を説明する。 2.部分床義歯における維持、支持および把持を説明する。 3.部分床義歯の分類法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：10部分床義歯の特性、12部分床義歯の構成要素を読む。	
第10回	水橋　亮	部分床義歯の特性と構成要素（２）	1.直接支台装置と間接支台装置について説明する。 2.クラスプの分類と特徴について説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：12部分床義歯の構成要素を読む。	

第11回	水橋　亮	部分床義歯の特性と構成要素（3）	1.レストの目的を説明する。 2.アタッチメントの種類と特徴を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：12部分床義歯の構成要素を読む。	
第12回	水橋　亮	部分床義歯の特性と構成要素（4）	1.連結子の目的を説明する。 2.連結子の利点と欠点を説明する。 3.連結子の分類を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：12部分床義歯の構成要素を読む。	
第13回	水橋　亮	部分床義歯の特性と構成要素（5）	1.義歯床の役割を説明する。 2.人工歯の種類と特徴について説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：12部分床義歯の構成要素を読む。	
第14回	水橋　亮	部分床義歯の印象採得と咬合採得に伴う技工作業	1.個人トレーの製作法を説明する。 2.作業用模型の製作法を説明する。 3.咬合床の製作法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：13部分床義歯の印象に伴う技工作業、14部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業を読む。	
第15回	水橋　亮	部分床義歯の支台装置	1.サベイヤーの使用目的を説明する。 2 サベイヤーの構造を説明する。 3.サベイングの方法を説明する。 4.クラスプの製作方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学Ⅱ	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第2学年	前期	水曜日	10:40～12:00

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全であり、その治療対象は極めて広く治療内容も多種多様である。本演習では、まず歯科補綴治療の目的を達成するために必要な顎口腔系の形態と機能を理解し、そのうえで患者固有の形態と機能に調和した補綴装置とはどのようなものかを考える。また、有床義歯製作の治療手順を学び、各臨床ステップにおける技工操作法と器材の取り扱い法について修得する。

歯の欠損による顎口腔機能と形態の障害を回復するために、有床義歯治療の臨床術式および技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- ○ 定期試験（80　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（小テスト　）（20　%）

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹	部分床義歯の製作順序	1.部分床義歯の製作順序を説明する。 2.歯科診療所と歯科技工所における作業の関連を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：11部分床義歯の製作順序を読む。	
第２回	浅沼　直樹	クラスプの製作（１）	1.鋳造鉤の製作方法を説明する。 2.線鉤の最策方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	
第３回	浅沼　直樹	クラスプの製作（２）	1.鋳造鉤の製作方法を説明する。 2.線鉤の最策方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	
第４回	浅沼　直樹	バーの製作（１）	1.連結子の製作方法を説明する。 2.鋳造バーの製作方法を説明する。 3.屈曲バーの製作方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：16バーの製作を読む。	
第５回	浅沼　直樹	バーの製作（２）	1.連結子の製作方法を説明する。 2.鋳造バーの製作方法を説明する。 3.屈曲バーの製作方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：16バーの製作を読む。	
第６回	浅沼　直樹	部分床義歯の人工歯排列と削合（１）	1.前歯部の人工歯排列方法について説明する。 2.臼歯部の人工歯排列方法について説明する。 3.削合方法について説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第７回	浅沼　直樹	部分床義歯の人工歯排列と削合（２）	1.前歯部の人工歯排列方法について説明する。 2.臼歯部の人工歯排列方法について説明する。 3.削合方法について説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第８回	浅沼　直樹	部分床義歯の歯肉形成	1.歯肉形成の目的を説明する。 2.歯肉形成の方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第９回	浅沼　直樹	部分床義歯の埋没	1.埋没の前準備を説明する。 2.埋没法の種類を説明する。 3.流ろう方法について説明する。
	準備学習	.教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第10回	浅沼　直樹	部分床義歯の重合	1.重合方法の種類と特徴を説明する。 2.加熱重合法を説明する。 3.流込みレジン重合法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第11回	浅沼　直樹	部分床義歯の咬合調整と研磨	1.スプリットキャスト法を説明する。 2.テンチの歯型法を説明する。 3.フェイスボウトランスファーを説明する。 4.義歯の研磨法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	

第12回	浅沼　直樹	有床義歯の修理	1.破折と破損の原因を説明する。 2.義歯の修理方法を説明する。 3.リベースとリラインの目的を説明する。 4.リベースとリラインの方法を説明する。
	準備学習	教科書Ⅳ：20修理と21リベースおよびリラインを読む。	
第13回	浅沼　直樹	訪問歯科診療の現状と歯科技工士の役割	1.訪問歯科診療における歯科技工士の役割を説明する。 2.医療・福祉職種等との多職種連携について説明する。 3.多職種連携に必要な項目を説明する。 4.制約された環境下での歯科技工操作について説明する。
	準備学習	歯科技工管理学の関連項目を読む。	
第14回	浅沼　直樹	オーバーデンチャー、金属床義歯およびノンメタルクラスプデンチャー	1.オーバーデンチャーの目的を説明する。 2.金属床義歯の特徴を説明する。 3.金属床義歯の製作方法を説明する。 4.ノンメタルクラスプデンチャーの特徴を説明する。
	準備学習	教科書Ⅳ：22オーバーデンチャー、23金属床義歯、24その他の有床義歯を読む。	
第15回	浅沼　直樹	まとめ	1.全部床義歯の製作順序と歯科技工内容を説明する。 2.部分床義歯製作順序と歯科技工内容を説明する。 3.歯科技工士に必要な他の専門職との多職種連携について説明する。
	準備学習	これまでの講義内容を復習する。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学Ⅲ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
浅沼　直樹	第2学年	後期	月曜日	10:40～12:00

授業概要

これまでの有床義歯技工学の履修内容を復習し、関連した試験問題を解きながら、国家試験合格のために必要な知識を身につける。

一般目標（GIO）

有床義歯技工学の総論的事項と各論的事項を身につけるために、問題を解き、その内容を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版、配布資料

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（80　%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（小テスト　）（20　%）

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・3号館2階浅沼教授室　※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	浅沼　直樹	有床義歯の分類と特徴	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第２回	浅沼　直樹	有床義歯の製作手順	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第３回	浅沼　直樹	全部床義歯の印象と咬合採得	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第４回	浅沼　直樹	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第５回	浅沼　直樹	部分床義歯の構成要素と特徴	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第６回	浅沼　直樹	部分床義歯の印象と咬合採得	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第７回	浅沼　直樹	有床義歯の埋没と重合	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	
第８回	浅沼　直樹	有床義歯の調整と修理	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	問題集と配布資料の問題を解く。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学実習Ⅰ	実習	6

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
水橋　亮	第1学年	前期	水曜日	13:00～16:00

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全である。本実習では超高齢社会における患者の求める有床義歯についての理解を深めるために、全部床義歯・部分床義歯の製作方法と失われた諸機能と顔貌の回復方法を修得する。

歯の欠損による顎口腔機能と形態の障害を回復するために、有床義歯製作を通して臨床術式と技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版、配布資料

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（80%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（小テスト）（20%）

製作物の到達度（80%）と、実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	水橋　亮	概説，全部床義歯の診断と設計	1.実習に必要な器具・器材を準備する。 2.診断・設計模型を製作する。 3.ＬＯのペイント模型を製作する。 4.ＦＢＯのペイント模型を製作する。
	準備学習	教科書Ⅱ：３全部床義歯の特性、４全部床義歯の製作順序を読む。	
第２回	水橋　亮	スプリットキャストの製作	1.スプリットキャストの目的を説明する。 2.スプリットキャストの製作を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：９全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第３回	水橋　亮	咬合床の製作（１）	1.作業模型に床外形線を記入する。 2.リーフの外形線を記入する。 3.歯槽頂線を記入する。
	準備学習	教科書Ⅱ：４全部床義歯の製作順序、６全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を読む。	
第４回	水橋　亮	咬合床の製作（２）	1.常温重合レジンで基礎床を製作する。 2.パラフィンワックスで咬合堤を製作する。
	準備学習	教科書Ⅱ：４全部床義歯の製作順序、６全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を読む。	
第５回	水橋　亮	模型装着	1.咬合平面板を用いた上顎模型の咬合器への装着を実施する。 2.咬合床を介した下顎模型の装着を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：６全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を読む。	
第６回	水橋　亮	人工歯排列（１）	1.ワックス操作を適切に実施する。 2.上顎前歯部人工歯の選択について説明する。 3.上顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。 4.審美的な歯肉形成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第７回	水橋　亮	人工歯排列（２）	1.下顎前歯部人工歯の選択について説明する。 2.下顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。 3.審美的な歯肉形成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第８回	水橋　亮	人工歯排列（３）	1.前方運動時の咬合調整を実施する。 2.中心咬合位での削合を実施する。 3.偏心位での削合を実施する。 4.適正な被蓋関係の付与を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第９回	水橋　亮	人工歯排列（４）	1.下顎臼歯部人工歯の選択について説明する。 2.全部床義歯の咬合様式を説明する。 3.下顎臼歯部の人工歯排列を実施する。 4.上顎ろう堤に対する適切な排列を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第10回	水橋　亮	人工歯排列（５）	1.上顎臼歯部人工歯の選択について説明する。 2.全部床義歯の咬合様式を説明する。 3.上顎臼歯部の人工歯排列を実施する。 4.下顎臼歯部人工歯に対する適切な排列を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：７全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	

第11回	水橋　亮	人工歯排列（6）	1.適切な上下顎臼歯部人工歯排列を実施する。.
	準備学習	教科書Ⅱ：7全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第12回	水橋　亮	臼歯部削合（1）	1.全部床義歯の咬合様式を説明する。 2.中心咬合位での削合を実施する。 3.偏心位での削合を実施する。 4.両側性平衡咬合の構成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：7全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第13回	水橋　亮	臼歯部削合（2）	1.全部床義歯の咬合様式を説明する。 2.中心咬合位での削合を実施する。 3.偏心位での削合を実施する。 4.両側性平衡咬合の構成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：7全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第14回	水橋　亮	歯肉形成（1）	1.ワックス操作を適切に実施する。 2.周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。 3.審美的な歯肉形成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：7全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	
第15回	水橋　亮	歯肉形成（2）	1.ワックス操作を適切に実施する。 2.周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。 3.審美的な歯肉形成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：7全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学実習Ⅰ	実習	6

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
水橋　亮	第1学年	後期		火曜日・木曜日 13:00～16:00

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全である。本実習では超高齢社会における患者の求める有床義歯についての理解を深めるために、全部床義歯・部分床義歯の製作方法と失われた諸機能と顔貌の回復方法を修得する。

歯の欠損による顎口腔機能と形態の障害を回復するために、有床義歯製作を通して臨床術式と技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版、配布資料

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（80%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（小テスト）（20%）

製作物の到達度（80%）と、実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第16回	水橋　亮	埋没	1.上顎ろう義歯の埋没を実施する。 2.下顎ろう義歯の埋没を実施する。 3.二次埋没の意義を説明する。 4.適正な環境でフラスコを保管する。
	準備学習	教科書Ⅱ：8 全部床義歯の埋没と重合を読む。	
第17回	水橋　亮	流ろう	1.流ろうの目的と意義を説明する。 2.ワックスの軟化方法を説明する。 3.流ろうを実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：8 全部床義歯の埋没と重合を読む。	
第18回	水橋　亮	レジン填入、重合	1.加熱重合レジンの混和を実施する。 2.レジン填入を実施する。 3.重合のための前準備を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：8 全部床義歯の埋没と重合を読む。	
第19回	水橋　亮	堀り出し、リマウント	1.フラスコからの義歯の掘り出しを実施する。 2.正確な分割線の記入を実施する。 3.上下顎義歯の掘り出しを実施する。 4.適正な位置へのリマウントを実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：8 全部床義歯の埋没と重合を読む。	
第20回	水橋　亮	削合（1）	1.中心咬合位での削合を実施する。 2.偏心位での削合を実施する。 3.咬合器の適切な使用を実施する。 4.自動削合を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：9 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第21回	水橋　亮	削合（2）	1.中心咬合位での削合を実施する。 2.偏心位での削合を実施する。 3.咬合器の適切な使用を実施する。 4.自動削合を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：9 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第22回	水橋　亮	研磨（1）	1.研磨の正しい手順を説明する。 2.適切な器材で粗研磨を実施する。 3.適切な器材で中研磨を実施する。 4.適切な器材で仕上げ研磨を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：9 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第23回	水橋　亮	研磨（2）	1.研磨の正しい手順を説明する。 2.適切な器材で粗研磨を実施する。 3.適切な器材で中研磨を実施する。 4.適切な器材で仕上げ研磨を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：9 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第24回	水橋　亮	義歯完成	1.義歯の完成を実施する。 2.完成義歯を水中保管する目的を説明する。 3.咬合器の整備を実施する。
	準備学習	教科書Ⅱ：9 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	

第25回	水橋　亮	部分床義歯の設計	1.部分床義歯設計模型の製作を実施する。 2.メタルフレームの形態を説明する。 3.完成義歯の形態を説明する。 4.最終的な義歯の設計・形態を説明する。
	準備学習	教科書Ⅱ：９全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を読む。	
第26回	水橋　亮	サベイング	1.サベイングの目的を説明する。 2.適切な手順でサベイングを実施する。 3.適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	
第27回	水橋　亮	設計（１） 下顎Kennedy Ⅰ級	1.適切な手順でサベイングを実施する。 2.適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。 3.根拠に基づいた設計を実施する。 4.ガイドプレーン記載を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：10部分床義歯の特性～12部分床義歯の構成要素を読む。	
第28回	水橋　亮	設計（２） 上顎Kennedy Ⅱ級１類	1.適切な手順でサベイングを実施する。 2.適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。 3.根拠に基づいた設計を実施する。 4.ガイドプレーン記載を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：10部分床義歯の特性～12部分床義歯の構成要素を読む。	
第29回	水橋　亮	設計（３） 下顎Kennedy Ⅱ級２類	1.適切な手順でサベイングを実施する。 2.適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。 3.根拠に基づいた設計を実施する。 4.ガイドプレーン記載を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：10部分床義歯の特性～12部分床義歯の構成要素を読む。	
第30回	水橋　亮	ガイドプレーンとレストシートの形成	1.前処置に必要な器具を準備する。 2.前処置の順番を説明する。 3.前処置を人工歯上で実施する。 4.個人トレー製作の前準備を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	
第31回	水橋　亮	部分床義歯の個人トレー製作（設計(2)の模型）	1. 個人トレーの外形線描記を実施する。 2.常温重合レジンの圧接を実施する。 3.適切な外形でトリミングを実施する。 4.レジン切削に関する方法に習熟する。
	準備学習	教科書Ⅲ：13部分床義歯の印象採得に伴う技工作業を読む。	
第32回	水橋　亮	ワイヤークラスプ製作 (設計(2)の模型)	1.ワイヤークラスプの形態を説明する。 2.適切なプライヤー操作を実施する。 3.ワイヤークラスプの屈曲を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	
第33回	水橋　亮	耐火模型製作(1) (設計(1)(2)の模型)	1.リリーフ外形線の記入を実施する。 2.ブロックアウトを実施する。 3.リリーフを実施する。 4.ワックスステップの付与を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作を読む。	

第34回	水橋　亮	耐火模型製作(2) (設計(1)(2)の模型)	1.複印象を実施する。 2.耐火模型の製作を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第35回	水橋　亮	キャストクラスプ，RPIクラスプ，リンガルバーのワックスアップ（1）	1.エーカースクラスプの形態を説明する。 2.RPIクラスプの形態を説明する。 3.ワックスアップに必要な器材を準備する。 4.ワックスアップを実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第36回	水橋　亮	キャストクラスプ，RPIクラスプ，リンガルバーのワックスアップ（2）	1.エーカースクラスプの形態を説明する。 2.RPIクラスプの形態を説明する。 3.ワックスアップに必要な器材を準備する。 4.ワックスアップを実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第37回	水橋　亮	メタルフレームの埋没	1.埋没前の前準備を実施する。 2.スプルーイングを実施する。 3.型ごと埋没を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第38回	水橋　亮	鋳造	1.鋳造を実施する。 2.鋳造時の金属の融解方法を説明する。 3.フラックスの適切な使用を実施する。 4.鋳造後、掘り出しを実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第39回	水橋　亮	フレームの研磨と試適	1.研磨の手順を説明する。 2.形態修整を実施する。 3.部位に応じた適切な研磨を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：15クラスプの製作、16バーの製作を読む。	
第40回	水橋　亮	模型の咬合器装着，咬合床の製作	1.咬合床を製作する。 2.咬合平面板を用いた上顎模型の咬合器装着を実施する。 3.ジグを用いた下顎模型の咬合器装着を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：11部分床義歯の製作手順を読む。	
第41回	水橋　亮	人工歯排列（1）	1.人工歯排列の原則を説明する。 2.臼歯部人工歯の選択を説明する。 3.適正な人工歯排列を実施する。 4.適切な上下顎臼歯部人工歯排列を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第42回	水橋　亮	人工歯排列（2）	1.人工歯排列の原則を説明する。 2.臼歯部人工歯の選択を説明する。 3.適正な人工歯排列を実施する。 4.適切な上下顎臼歯部人工歯排列を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第43回	水橋　亮	人工歯の削合（1）	1.咬合紙の使用法を習熟する。 2.中心咬合位の削合を実施する。 3.偏心位における削合を実施する。 4.離開咬合の構成を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	

第44回	**水橋　亮**	歯肉形成	1.歯肉形成の目的と方法を説明する。 2.周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。 3.審美的な歯肉形態回復を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	
第45回	**水橋　亮**	歯肉形成	1.ワックス操作を適切に実施する。 2.周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。 3.審美的な歯肉形態回復を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：17部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学実習Ⅱ	実習	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
関口　博一	第2学年	前期	木曜日	13:00～16:00

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全である。本実習では超高齢社会における患者の求める有床義歯についての理解を深めるために、全部床義歯・部分床義歯の製作方法と失われた諸機能と顔貌の回復方法を修得する。

一般目標（GIO）

歯の欠損による顎口腔機能と形態の障害を回復するために、有床義歯製作を通して臨床術式と技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会編集　医歯薬出版、配布資料

参考書

基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー　日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会監修　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（80　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（小テスト）（20　%）

製作物の到達度（80%）と、実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。□

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	関口　博一	部分床義歯の埋没	1.部分床義歯の埋没法の分類と特徴を説明する。 2.ろう義歯の一次埋没を実施する。 3.ろう義歯の二次埋没を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第２回	関口　博一	流ろう	1.流ろうの目的と意義を説明する。 2.ワックスの軟化方法を説明する。 3.流ろうを実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第３回	関口　博一	レジン填入、重合	1.加熱重合レジンの混和を実施する。 2.レジン填入を実施する。 3.重合のための前準備を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第４回	関口　博一	堀り出し、リマウント	1.フラスコからの義歯の掘り出しを実施する。 2.正確な分割線の記入を実施する。 3.義歯の掘り出しを実施する。 4.適正な位置へのリマウントを実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：18部分床義歯の埋没と重合を読む。	
第５回	関口　博一	削合（１）	1.中心咬合位での削合を実施する。 2.偏心位での削合を実施する。 3.咬合器の適切な使用を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	
第６回	関口　博一	削合（２）	1.中心咬合位での削合を実施する。 2.偏心位での削合を実施する。 3.咬合器の適切な使用を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	
第７回	関口　博一	研磨（１）	1.研磨の正しい手順を説明する。 2.適切な器材で粗研磨を実施する。 3.適切な器材で中研磨を実施する。 4.適切な器材で仕上げ研磨を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	
第８回	関口　博一	研磨（２）	1.研磨の正しい手順を説明する。 2.適切な器材で粗研磨を実施する。 3.適切な器材で中研磨を実施する。 4.適切な器材で仕上げ研磨を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	
第９回	関口　博一	義歯完成	1.部分床義歯を完成させる。 2.完成義歯を水中保管する目的を説明する。 3.咬合器の整備を実施する。
	準備学習	教科書Ⅲ：19部分床義歯の咬合調整と研磨を読む。	
第10回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（１）	1.CADソフトの操作を実施する。 2.スキャナーの操作を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	

第11回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（２）	１.CADを用いてクラウン（ジルコニア、単冠）の設計を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	
第12回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（３）	１.CADを用いてジルコニアクラウン築盛用フレームの単冠の設計を実施する。 ２.CADを用いてブリッジ築盛用フレームの設計を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	
第13回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（４）	１.CADを用いてジルコニアクラウン築盛用フレームの単冠の設計を実施する。 ２.CADを用いてブリッジ築盛用フレームの設計を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	
第14回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（５）	１.切削加工機を用いて修復物に適した架工を実施する。 ２.切削加工機の取り扱い操作を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	
第15回	関口　博一	歯科用CAD/CAMシステムの操作と設計（６）	１.切削加工機を用いて修復物に適した架工を実施する。 ２.切削加工機の取り扱い操作を実施する。
	準備学習	配布資料を読む。	

授業科目名	授業形態	単位数
有床義歯技工学演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
水橋　亮	第2学年	後期	金曜日	13:00～16:00

授業概要

全部床義歯・部分床義歯の製作を通して習得した基礎的実習を基に、臨床にそくした実践的な技術を修得する。有床義歯の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、有床義歯技工操作手技の基礎的事項を修得する。また、国家資格を取得するために必要な実技試験に対応した技術を身につける。

一般目標（GIO）

歯科技工士としての国家資格を取得するために、実技試験に対応した歯科技工技術を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- ○ 成果発表（口頭・実技）（100%）
- その他（　　）（　　%）

製作物の到達度（100%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	水橋　亮	全部床義歯人工歯排列	1.規定時間内に上下顎の全部床義歯人工歯排列を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第２回	水橋　亮	全部床義歯歯肉形成	1.規定時間内に上下顎の全部床義歯歯肉形成を実施する。 2.人工歯排列、歯肉形成の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第３回	水橋　亮	歯の解剖（1）	1.歯冠修復に必要な歯の形態解剖を説明する。 2.制限時間内に歯の形態をデッサンする。 3.完成したデッサンの評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第４回	水橋　亮	歯の解剖（2）	1.歯冠修復に必要な歯の形態解剖を説明する。 2.制限時間内に歯の形態をデッサンする。 3.完成したデッサンの評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第５回	水橋　亮	歯型彫刻（1）	1.歯型彫刻に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に歯型彫刻を実施する。 3.完成した歯型彫刻の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第６回	水橋　亮	歯型彫刻（2）	1.歯型彫刻に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に歯型彫刻を実施する。 3.完成した歯型彫刻の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第７回	水橋　亮	線の屈曲（1）	1.線の屈曲に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に線を屈曲する。 3.完成した屈曲した線の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第８回	水橋　亮	線の屈曲（2）	1.線の屈曲に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に線を屈曲する。 3.完成した屈曲した線の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学Ⅰ	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
上田　一彦	第1学年	前期	火曜日	10:40～12:00

授業概要

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的応用を修得する。

一般目標（GIO）

歯冠修復物の製作を通して,人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために, 歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し, 歯科技工物の種類とその製作手法・手順の基礎的事項と臨床的応用を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [○] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（ 90 %）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（ 10 %）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての記述式、多選択肢形式筆記試験（90%）と、レポート（10%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じてする

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	上田　一彦	１）歯冠修復技工学の概要,歯冠修復の流れ ２）保存修復の目的,現在の保存修復の治療	１）歯冠修復技工学の目的を説明する。 ２）歯冠修復技工学の意義を説明する。 ３）歯冠修復技工の流れを記述する。 ４）歯の硬組織疾患を説明する。 ５）保存修復の目的を述べる。 ６）保存修復材料を類別する。 ７）現在の保存治療の特徴を述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第２回	上田　一彦	クラウンとブリッジの具備要件（１）	１）歯冠修復物に求められる要件を列記する。 ２）生物学的要件を分類する。 ３）歯と歯列との関係について述べる。 ４）歯周組織との関係について述べる。 ５）清掃性との関係について述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第３回	上田　一彦	クラウンとブリッジの具備要件（２）	１）構造力学的要件を分類する。 ２）構造力学的要件を具体的に述べる。 ３）力学安定生について述べる。 ４）維持力について述べる。 ５）化学的要件を説明する。 ６）化学的安定性について述べる。 ７）審美的要件を述べる。 ８）形態,排列と色調について述べる。 ９）心理的要件について述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第４回	上田　一彦	１）印象材,印象,トレー,スタディーモデル ２）:作業用模型とトリミング，辺縁形態と 咬合器装着	１）印象材を類別する。 ２）トレーの種類を分類する。 ３）スタディーモデルの用途を具体的に述べる。 ４）作業用模型の要件について述べる。 ５）作業用模型の特徴について述べる。 ６）作業用模型の種類について述べる。 ７）辺縁形態を分類し,修復物との関連について述べる。 ８）咬合器の種類と取扱いを説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第５回	上田　一彦	全部金属冠のワックスパターン形成と埋没法	１）意義,特徴および適応用途について述べる。 ２）ワックスパターン形成の目的を知る。 ３）ワックスパターン形成の方法を列記する。 ４）埋没の手順について説明する。 ５）埋没方法の違いを説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第６回	上田　一彦	鋳造作業，連結法，調整,研磨，試適・仮着・合着	１）鋳造法を列記する。 ２）連結法の目的を説明する。 ３）ろう付けの方法を述べる。 ４）研磨の目的を説明する。 ５）研磨の方法を分類する。 ６）修復物の試適・仮着・合着について説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第７回	上田　一彦	支台築造，プロビジョナルクラウン・プロビジョナルブリッジ	1）プロビジョナルクラウンの意義と目的を列記する。 2）プロビジョナルクラウンの種類を分類する。 3）プロビジョナルクラウンの製作方法を述べる。 4）支台築造の意義,目的を列記する。 5）支台築造の製作法について説明する。 6）メタルコアの目的を具体的に述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第８回	上田　一彦	窩洞の分類，インレー	1）窩洞形態を分類する。 2）窩洞形態の定義を説明する。 3）保存修復材料を類別する。 4）修復時に要求される形態を分類する。 5）インレーの製作手順を述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第９回	上田　一彦	:継続歯（ポストクラウン），部分被覆冠	1）継続歯の特徴を説明する。 2）継続歯の用途を具体的に述べる。 3）継続歯の構成を列記する。 4）部分被覆冠を分類する。 5）各種部分被覆冠の特徴を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第10回	上田　一彦	ブリッジ（1）	1）ブリッジの目的を説明する。 2）ブリッジの構成を具体的に述べる。 3）ブリッジを分類する。 4）支台装置を類別し,要件を列記する。 5）ポンティックの意義を説明し,基底部形態を分類する。 6）ポンティックの形態と清掃性について述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第11回	上田　一彦	ブリッジ（2）	1）連結部の概要を述べる。 2）連結部を類別する。 3）ブリッジの製作方法を類別する。 4）半固定性ブリッジの製作方法を説明する。 5）清掃性との関係について述べる。 6）可撤性ブリッジの製作方法を述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第12回	上田　一彦	ジャケットクラウン	1）ジャケットクラウンを分類する。 2）ジャケットクラウンの使用材料を比較する。 3）ジャケットクラウンの製作方法を材料別に述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第13回	上田　一彦	前装冠,レジン前装冠	1）前装冠を類別する。 2）前装冠の支台歯形態を説明する。 3）前装用レジン（歯冠用硬質レジン）の特徴を列記する。 4）レジン前装冠の製作方法を記述する。 5）窓あけを説明し,前装部維持装置を具体的に述べる。 6）製作過程の注意点を述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第14回	**上田　一彦**	陶材焼付金属冠	1）陶材による色調再現について具体的に述べる。 2）陶材焼付金属冠の製作方法を記述する。 3）ディギャッシングの目的を説明する。 4）コンデンス法や焼成法を説明する。 5）スティニングの意義について説明する。 6）グレージングの目的と手法について説明する。 7）ろう付け法を説明する。 8）陶材の築盛方法を述べる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第15回	**上田　一彦**	1）CAD/CAM 2）現在の審美補綴 3）インプラント	1）CAD/CAMの概要を述べる。 2）現在の審美補綴の概要を説明する。 3）インプラントの概要を説明する。 4）インプラントの概要を説明する。 5）インプラントを類別する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学Ⅱ	講義	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
関口　博一	第2学年	前期	水曜日	9:00～10:20

授業概要

歯冠や歯の欠損を回復するために、保存修復学、歯科補綴学、歯冠修復技工学について理解し、歯科技工に必要な基礎的事項と臨床的事項を理解する。

一般目標（GIO）

保存修復物、補綴物による治療の効果について理解し、歯科技工物の種類を修得し、歯科補綴物の製作手法・手順を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [○] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（ 90 %）
- [○] 提出物（ノート・レポート）（ 10 %）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての記述式、多選択肢形式筆記試験（90%）と、レポート（10%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じてする

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	関口　博一	歯冠修復の意義と機能回復の手法	1.保存修復治療、補綴治療の概念を説明する。 2.口腔機能、咀嚼機能回復の重要性を説明する。 3.修復物の具備条件を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第２回	関口　博一	咬合・咀嚼障害とは	1.顎運動、咬合の概念を説明する。 2.口腔機能、咀嚼機能障害の影響を説明する。 3.歯の喪失の影響と対策を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第３回	関口　博一	修復法と修復物の種類	1.保存修復治療、インレー等の修復物を説明する。 2.補綴治療、クラウン等の補綴物を説明する。 3.ブリッジや義歯の種類や適応症を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第４回	関口　博一	窩洞、支台歯の形成と模型製作、印象と印象剤、トレー	1.窩洞と支台形成の概念を説明する。 2.印象採得と精度管理の重要性を説明する。 3.印象採得と模型製作の手順を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第５回	関口　博一	模型の種類と模型剤、模型の取り扱い	1.模型の種類を説明する。 2.模型剤の種類と選択方法を説明する。 3.模型の取り扱い方法を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第６回	関口　博一	支台築造とブリッジの設計	1.支台築造の概念を説明する。 2.ブリッジによる咀嚼機能回復の重要性を説明する。 3.ブリッジの設計方法を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第７回	関口　博一	咬合採得と咬合器	1.咬合採得の概念を説明する。 2.咬合器の機能と重要性を説明する。 3.咬合と修復物との関係を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第８回	関口　博一	顎位と顎運動、咬合位	1.顎運動の概念を説明する。 2.中心咬合位や下顎安静位の重要性を説明する。 3.咬合条件の再現性と心身への影響を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。咬合に関する予習レポートを作成する。	
第９回	関口　博一	テンポラリークラウン	1.保存修復治療、補綴治療の手順を説明する。 2.暫間被覆冠の重要性と機能を説明する。 3.テンポラリークラウンの形態条件を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第10回	関口　博一	修復物の製作法１	1.口腔の形態の再現方法を説明する。 2.口腔機能、咀嚼機能回復の重要性を説明する。 3.修復物の製作ステップを説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第11回	関口　博一	修復物の製作法２	1.様々な補綴物、特殊な補綴物の概念を説明する。 2.中年期以降の口腔機能回復の重要性を説明する。 3.製作機材の効果的な使用方法について説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第12回	関口　博一	精度向上に必要な技術	1.治療中の精度低下の原因を説明する。 2.精度補正の概念を説明する。 3.不適合補綴物の悪影響を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第13回	関口　博一	修復物の装着と調整、機能の評価、合着	1.修復物の調整方法を説明する。 2.口腔機能、咀嚼機能回復の評価法を説明する。 3.修復、補綴物の装着条件を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。修復方法・手順に関するレポートを作成する。	
第14回	関口　博一	歯冠修復のトラブルと対応	1.保存修復治療、補綴治療の限界を説明する。 2.修復物の患者による管理方法を説明する。 3.修復物の損傷、破壊の原因を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第15回	関口　博一	機能回復と審美性の回復効果、QOLの向上	1.咀嚼機能回復の意義と効果を説明する。 2.審美性回復の重要性を説明する。 3.歯科治療によるQOL向上を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し試験に向けた準備を進める。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学Ⅲ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
加藤　千景	第2学年	後期	月曜日	10:40～12:00

授業概要

これまでの講義と実習で修得した基礎的な内容加え、関連した試験問題解きながら、国家試験合格のために必要な知識と歯冠修復技工学の総合力を身につける。

一般目標（GIO）

歯冠修復学の総論的事項と各論的事項を関連させて身につけるために、問題を解き、その内容を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [ ] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（80%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [○] その他（　小テスト　）（20%）

講義内容についての本試験（80%）と講義の際の小テスト（20%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

毎週の講義実施日の放課後。メールで設定する（chikage@ngt.ndu.ac.jp）。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	加藤　千景	歯冠修復の意義と機能回復の手法	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第２回	加藤　千景	修復法と修復物の種類	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第３回	加藤　千景	窩洞、支台歯の形成と模型製作、印象と印象剤	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第４回	加藤　千景	プロビジョナルレストレーション	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第５回	加藤　千景	支台築造とブリッジの設計	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第６回	加藤　千景	修復物の製作法	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第７回	加藤　千景	修復物の装着と調整	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	
第８回	加藤　千景	歯冠修復のトラブルと対応	1.該当箇所の履修内容を説明する。 2.誤答した問題内容を説明する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解して問題集と配布資料の問題を解く。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学実習Ⅰ	実習	6

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
上田　一彦	第1学年	前期	金曜日	9:00～12:00

授業概要

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠修復技工操作の各種手技の基礎的事項を実際に修得する。また、、臨床現場での治療順序に沿った補綴装置の製作法についても理解を深める。

一般目標（GIO）

保存修復物、補綴物による治療の効果を理解するために、歯冠修復治療の補綴装置の製作を通して臨床術式と技工操作を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [○] 成果発表（口頭・実技）（80%）
- [○] その他（小テスト）（20%）

製作物の到達度（80%）と、実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	上田　一彦	クラウン製作の基礎（１）	1.全部金属冠の製作方法を説明する。 2.全部金属冠製作に必要な器材を準備する。 3.クラウン製作に必要な歯の形態解剖をデッサンする。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第２回	上田　一彦	クラウン製作の基礎（２）	1.全部金属冠の製作方法を説明する。 2.全部金属冠製作に必要な器材を準備する。 3.クラウン製作に必要な歯の形態解剖をデッサンする。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第３回	上田　一彦	クラウンの製作（１）、作業用模型の製作	1.精密印象採得を適切に実施する。 2.ダウェルピンを用いた歯型可撤式模型を製作する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第４回	上田　一彦	クラウンの製作（２）、作業用模型の製作	1.精密印象採得を適切に実施する。 2.ダウェルピンを用いた歯型可撤式模型を製作する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第５回	上田　一彦	クラウンの製作（３）、咬合器装着	1.作業用模型を咬合器に適切に装着する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第６回	上田　一彦	クラウンの製作（４）、ワックスパターンの形成	1.ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2.ドロップオンテクニックによるワックスパターンの形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第７回	上田　一彦	クラウンの製作（５）、ワックスパターンの完成	1.ドロップオンテクニックによるワックスパターンの形成を実施する。 2.ワックスパターン形成の仕上げを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第８回	上田　一彦	クラウンの製作（６）、埋没	1.ワックスパターンのスプルーイングを実施する。 2.ワックスパターンの埋没を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第９回	上田　一彦	クラウンの製作（７）、鋳造	1.歯科精密鋳造法の手順を説明する。 2.歯科用合金を用いて適切に歯科精密鋳造法を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第10回	上田　一彦	クラウンの製作（８）、調整・研磨	1.完成した全部金属冠の試適、調整および研磨を実施する。 2.完成した全部金属冠を提出する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第11回	上田　一彦	クラウンの製作（９）、研磨・完成	1.完成した全部金属冠の試適、調整および研磨を実施する。 2.完成した全部金属冠を提出する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第12回	**上田　一彦**	ジャケットクラウンの製作（1）、ワックスアップ	1.ジャケットクラウン（ジルコニアクラウン）の設計を行う。 2.ワックスパターンを形成する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第13回	**上田　一彦**	ジャケットクラウンの製作（2）、ワックスアップ	1.ジャケットクラウン（ジルコニアクラウン）の設計を行う。 2.ワックスパターンを形成する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第14回	**上田　一彦**	ジャケットクラウンの製作（3）、スキャニング	1.ワックスパターンを形成する。 2.完成したワックスパターンのスキャニングを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第15回	**上田　一彦**	ジャケットクラウンの製作（4）、スキャニング	1.完成したワックスパターンのスキャニングを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学実習Ⅰ	実習	6

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
上田　一彦	第1学年	後期		月曜日:13:00～16:00, 金曜日:9:00～12:00

授業概要

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠修復技工操作の各種手技の基礎的事項を実際に修得する。また、、臨床現場での治療順序に沿った補綴装置の製作法についても理解を深める。

一般目標(GIO)

保存修復物、補綴物による治療の効果を理解するために、歯冠修復治療の補綴装置の製作を通して臨床術式と技工操作を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [ ] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他(　　)

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験(　　%)
- [ ] 提出物(ノート・レポート)(　　%)
- [ ] ポートフォリオ(　　%)
- [○] 成果発表(口頭・実技)(80%)
- [○] その他(小テスト)(20%)

製作物の到達度(80%)と、実習の際の小テスト(20%)により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第16回	上田　一彦	部分被覆冠の製作（1）、作業用模型の製作	1.精密印象採得を適切に行う。 2.ダウェルピンを用いた歯型可撤式模型を製作する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第17回	上田　一彦	部分被覆冠の製作（2）、作業用模型の製作	1.精密印象採得を適切に行う。 2.ダウェルピンを用いた歯型可撤式模型を製作する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第18回	上田　一彦	部分被覆冠の製作（3）、咬合器装着	1.作業用模型を咬合器に適切に装着する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第19回	上田　一彦	部分被覆冠の製作(4)､ワックスパターン形成	1.部分被覆冠のワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第20回	上田　一彦	支台築造、メタルコアの製作	1.メタルコアの製作のワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第21回	上田　一彦	部分被覆冠とメタルコアの埋没、鋳造	1.メタルコアのワックスパターンを埋没、鋳造する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第22回	上田　一彦	前装冠の製作（1）、ワックスパターン形成	1.ドロップオンテクニックにより前装冠のワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第23回	上田　一彦	前装冠の製作（2）、ワックスパターンの形成	1.ドロップオンテクニックにより前装冠のワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第24回	上田　一彦	ブリッジの製作（1）、ポンティックワックスパターンの形成	1.ドロップオンテクニックにより前装冠のワックスパターン形成を実施する。 2.ポンティックに適切な基底面形態を付与する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第25回	上田　一彦	ブリッジの製作（2）、ポンティックワックスパターンの形成	1.ドロップオンテクニックにより前装冠のワックスパターン形成を実施する。 2.ポンティックに適切な基底面形態を付与する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第26回	上田　一彦	ブリッジの製作（3）、ポンティックワックスパターンの形成	1.ドロップオンテクニックにより前装冠のワックスパターン形成を実施する。 2.ポンティックに適切な基底面形態を付与する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第27回	上田　一彦	ブリッジの埋没	1.ワックスパターンのスプルーイングを実施する。 2.ワックスパターンの埋没操作を実施する。2.
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第28回	上田　一彦	ブリッジの鋳造	1.歯科用合金による歯科精密鋳造法を適切に実施する。 2.鋳造体の形態修整、調整を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第29回	上田　一彦	ブリッジのろう付け、研磨	1.ブリッジろう付けのためのコアを採得する。 2.ろう付け法を適切に実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第30回	上田　一彦	前装冠のレジン前装（1）	1.硬質レジンによる前装を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第31回	上田　一彦	前装冠のレジン前装（2）	1.硬質レジンによる前装を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第32回	上田　一彦	ブリッジの調整・研磨（1）	1.ブリッジの形態修整を実施する。 2.ブリッジの調整を実施する。 3.ブリッジの研磨を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第33回	上田　一彦	ブリッジの調整・研磨（2）	1.ブリッジの形態修整を実施する。 2.ブリッジの調整を実施する。 3.ブリッジの研磨を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第34回	上田　一彦	ブリッジの完成	1.ブリッジの仕上げ研磨、つや出しを実施する。 2.完成したブリッジを提出する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第35回	上田　一彦	レジンコアの製作（1）	1.レジンコア製作に用いる器材を準備する。 2.ファイバー補強レジンコアの目的を説明する。 3.ファイバーポストと光重合レジンを用いてレジンコアの製作を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第36回	上田　一彦	レジンコアの製作（2）	1.レジンコア製作に用いる器材を準備する。 2.ファイバー補強レジンコアの目的を説明する。 3.ファイバーポストと光重合レジンを用いてレジンコアの製作を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第37回	上田　一彦	プロビジョナルレストレーションの製作（1）	1.プロビジョナルレストレーション製作に用いる器材を準備する。 2.常温重合レジンを用いて製作を実施する。 3.プロビジョナルレストレーションの調整を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第38回	上田　一彦	プロビジョナルレストレーションの製作（2）	1.プロビジョナルレストレーション製作に用いる器材を準備する。 2.常温重合レジンを用いて製作を実施する。 3.プロビジョナルレストレーションの調整を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第39回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（1）、ワックスパターン形成	1.ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2.ワックスパターン形成を実施する。 3.ワックスパターン形成の仕上げを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第40回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（2）、ワックスパターン形成	1.ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2.ワックスパターン形成を実施する。 3.ワックスパターン形成の仕上げを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第41回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（3）、窓開け、埋没	1.陶材焼付金属冠の窓開け部を設計する。 2.ワックスパターン形成の窓開けを実施する。 3.ワックスパターンの埋没を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第42回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（4）、鋳造、適合調整	1.高温鋳造を実施する。 2.鋳造体内面の調整を実施する。 3.焼付面の調整を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第43回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（5）、陶材の築盛	1.陶材築盛に必要な器材を準備する。 2.低融陶材の築盛を実施する。 3.焼成炉による焼成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第44回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（6）、陶材の築盛	1.陶材築盛に必要な器材を準備する。 2.低融陶材の築盛を実施する。 3.焼成炉による焼成を実施する。 4.形態修整を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第45回	上田　一彦	陶材焼付金属冠の製作（7）、研磨、完成	1.研磨に必要な器材を準備する。 2.補綴装置の研磨を実施する。 3.補綴装置を完成させる。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学実習Ⅱ	実習	2

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
加藤　千景	第2学年	前期	火曜日	13:00～16:00

授業概要

歯冠修復物に求められる顎口腔系の機能・審美性を回復するために、講義から得た知識に基づき、歯冠修復物の製作技術を修得する。

一般目標（GIO）

顎口腔系の機能・審美性を回復するのに適切な歯冠修復物を作製するために，第1学年時に修得した知識と技能を応用した製作技術を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（ 80 %）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（ 小テスト　　）（20 %）

製作物の到達度（80%）と、実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

毎週の実習実施日の放課後。メールで設定する（chikage@ngt.ndu.ac.jp）。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	加藤　千景	メタルインレー　1 (模型製作)	1）作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2）作業用模型製作過程を列記する。 3）台付けラバーを用いた模型製作を実施する。 4）台付け模型の修正を工夫する。 5）咬合器装着に必要な器材を準備する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第２回	加藤　千景	メタルインレー　2 (台付け，咬合器装着)	1）レジンの研磨に必要な器材を準備する。 2）仕上げ研磨を実施する。 3）製作した技工物を提出する。 4）作業用模型を類別する。 5）作業用模型製作に必要な器材を準備する。 6）模型のトリミングを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第３回	加藤　千景	タルインレー　3 (分割，トリミング，パターン形成①)	1）作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2）模型の分割方法を説明する。 3）模型の分割を分割ノコにより実施する。 4）歯型のトリミングを実施する。 5）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 6）軟化圧接法でのろう型の製作を工夫する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第４回	加藤　千景	メタルインレー　4 (パターン形成②)	1）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2）窩洞形態について述べる。 3）盛り上げ法によるワックスパターン形成を実施する。 4）解剖学的形態を反対側同顎同名歯と対比する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第５回	加藤　千景	メタルインレー　5 (パターン形成③，埋没)	1）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2）ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。 3）メタルインレーのスプルーイングを述べる。 4）メタルインレー埋没に必要な器材を準備する。 5）メタルインレーの埋没を実施する。 6）メタルインレー鋳造に必要な器材を準備する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第６回	加藤　千景	メタルインレー　6 (鋳造，酸処理)	1）鋳造を実施する。 2）酸処理の目的について述べる。 3）鋳造後の処理を実施する。 4）研磨調整に必要な器材を準備する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第７回	加藤　千景	（1）メタルインレー　7 (研磨，提出) （2）小テスト　1	1）研磨調整に必要な器材を準備する。 2）隣接面の接触点の状態を模倣する。 3）辺縁部形態の調整を工夫する。 4）メタルインレーの研磨を実施する。 5）製作した技工物を提出する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第８回	加藤　千景	ブリッジ 1 (模型製作，咬合器装着)	1）歯型可撤式模型製作に必要な器材を準備する。 2）咬合器装着に必要な器材を準備する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

第９回	加藤　千景	ブリッジ　2 （分割，トリミング，パターン形成①　支台装置）	1）分割に必要な器材を準備する。 2）分割を実施する。 3）歯型のトリミングを実施する。 4）作業用模型を完成する。 5）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 6）支台装置の要件を述べる。 7）支台装置のワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第10回	加藤　千景	ブリッジ　3 （パターン形成⊠　ポンティック）	1）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2）ポンティックの種類を類別する。 3）ポンティックの形態について述べる。 4）ポンティックのワックスパターン形成を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第11回	加藤　千景	ブリッジ　4 （パターン形成⑨　基底部，窓明け）	1）ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2）ポンティックの窓開けの目的を述べる。 3）ポンティックの窓開けを実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第12回	加藤　千景	ブリッジ　5 （埋没）	1）支台装置とポンティックの連結法を説明する。 2）連結によりワックスパターンの仕上げを実施する。 3）埋没操作に必要な器材を準備する。 4）ブリッジのスプルーイングを述べる。 5）埋没法を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第13回	加藤　千景	ブリッジ　6 （鋳造，研磨）	1）鋳造法に使用する器材を準備する。 2）ブリッジの鋳造を実施する。 3）鋳造後処理を実施する。 4）鋳造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 5）鋳造体の研磨を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第14回	加藤　千景	ブリッジ　7 （メタル調整，ポンティック前装，ポンティック形態修正，研磨）	1）鋳造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 2）レジン築盛のための調整を実施する。 3）ポンティックの前装方法を述べる。 4）レジン前装を実施する。 5）レジン前装部の形態修正を実施する。 6）レジン前装部の研磨を実施する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	
第15回	加藤　千景	（1）ブリッジ　8 （研磨，提出） （2）小テスト　2	1）鋳造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 2）ブリッジの仕上げ研磨を実施する。 3）完成したブリッジの形態を検討する。 4）製作物を提出する。
	準備学習	テキストの該当箇所を確認し要点を理解する。	

授業科目名	授業形態	単位数
歯冠修復技工学演習	演習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
加藤　千景	第2学年	後期	金曜日	13:00～16:00

授業概要

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠修復技工操作の各種手技の基礎的事項を実際に修得する。また、国家資格を取得するために必要な実技試験に対応した技術を身につける。

一般目標（GIO）

保存修復物、補綴物による治療の効果を理解するために、国家試験に対応した歯科技工技術を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [○] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会　編　医歯薬出版

参考書

最新歯科技工士教本　歯科技工実習第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [ ] 定期試験（　　%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [○] 成果発表（口頭・実技）（100%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

製作物の到達度（100%）により評価を行う。

オフィスアワー

毎週の実習実施日の放課後。メールで設定する（chikage@ngt.ndu.ac.jp）。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	加藤　千景	歯の解剖（１）	1.歯冠修復に必要な歯の形態解剖を説明する。 2.制限時間内に歯の形態をデッサンする。 3.完成したデッサンの評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第２回	加藤　千景	歯の解剖（２）	1.歯冠修復に必要な歯の形態解剖を説明する。 2.制限時間内に歯の形態をデッサンする。 3.完成したデッサンの評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第３回	加藤　千景	歯型彫刻（１）	1.歯型彫刻に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に歯型彫刻を実施する。 3.完成した歯型彫刻の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第４回	加藤　千景	歯型彫刻（２）	1.歯型彫刻に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に歯型彫刻を実施する。 3.完成した歯型彫刻の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第５回	加藤　千景	歯型彫刻（３）	1.歯型彫刻に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に歯型彫刻を実施する。 3.完成した歯型彫刻の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第６回	加藤　千景	線の屈曲（１）	1.線の屈曲に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に線を屈曲する。 3.完成した屈曲した線の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第７回	加藤　千景	線の屈曲（２）	1.線の屈曲に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に線を屈曲する。 3.完成した屈曲した線の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	
第８回	加藤　千景	線の屈曲（３）	1.線の屈曲に必要な器材を準備する。 2.制限時間内に線を屈曲する。 3.完成した屈曲した線の評価と修正を実施する。
	準備学習	教科書該当項目の要点を確認する。	

授業科目名	授業形態	単位数
矯正歯科技工学Ⅰ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第1学年	後期	月曜日	10:40～12:00

授業概要

矯正歯科技工学における基本的概念を理解するために、矯正歯科治療の流れと矯正歯科技工との関連を身につけ、動的矯正装置・静的矯正装置について分類、目的、装置の構成および製作法を理解し実践できるようにする。

一般目標（GIO）

矯正歯科技工学の基本的概念を理解するために，正常咬合，不正咬合および矯正歯科治療の進め方を学び，治療に用いる装置の目的，構成，使用材料および製作方法を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-mailにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	矯正歯科治療と矯正歯科技工学 正常咬合と不正咬合	１）矯正歯科治療の意義と目的を述べる。 ２）矯正歯科技工の意義と目的を説明する。 ３）正常咬合の条件と種類を列記する。 ４）個々の歯の位置異常を述べる。 ５）歯列弓形態の異常を列記する。 ６）アングルの不正咬合分類を説明する。 ７）不正咬合による障害を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第２回	長谷川　優	矯正歯科治療の進め方 歯科技工用器具、器材、材料 矯正歯科技工の手技	１）矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わりを述べる。 ２）症例分析と矯正診断の流れを説明する。 ３） 動的矯正治療と保定を説明する。 ４）保定について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第３回	長谷川　優	矯正用口腔模型の製作 矯正装置の必要条件と分類	１）矯正装置の必要条件と分類法を述べる。 ２）矯正用口腔模型の種類と特徴を説明する。 ３）矯正用口腔模型の製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第４回	長谷川　優	舌側弧線装置 顎間固定装置	１）舌側弧線装置の目的を述べる。 ２）舌側弧線装置の構成を列記する。 ３）舌側弧線装置の製作方法を説明する。 ４）顎間固定装置の目的を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第５回	長谷川　優	機能的矯正装置	１）アクチバトールの目的と構成を述べる。 ２）バイオネーターの目的と構成を説明する。 ３）バイオネーターの製作方法を説明できる。 ４）咬合挙上板の目的と構成を説明する。 ５）咬合斜面板の目的と構成を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第６回	長谷川　優	拡大装置	１）拡大装置の目的を述べる。 ２）歯列弓拡大装置の種類を列記する。 ３）可撤式拡大装置の構成を列記する。 ４）固定式拡大装置の構成を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第７回	長谷川　優	顎外固定装置 リップバンパー マルチ ブラケット装置	１）ヘッドギアの目的と構成を述べる。 ２）オトガイ帽装置の目的と構成を説明する。 ３）上顎前方牽引装置の目的と構成を説明する。 ４）リップバンパーの目的と構成を述べる。 ５）マルチブラケット装置の目的を述べる。 ６）マルチブラケット装置の間接法の製作方法を 説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第 8 回	**長谷川　優**	保定装置	1）ホーレーリテーナーの目的と構成を説明する。 2）ホーレーリテーナーの製作方法を述べる。 3）ラップアラウンドリテーナーの目的と構成を説明する。 4）トウースポジショナーの目的と製作方法を述べる。 5）スプリングリテーナーの目的と製作方法を述べる。 6）下顎大歯間リテーナーの目的と製作方法を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

授業科目名	授業形態	単位数
矯正歯科技工学Ⅱ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第2学年	後期	金曜日	10:40～12:00

授業概要

矯正歯科技工学の総論的事項と各論的事項を身につけるために、問題を解き、その内容を理解する。

一般目標（GIO）

矯正歯科技工学の総論的事項と各論的事項を修得するために、矯正歯科治療の流れと各種咬合誘導装置についての問題を解き、その内容を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-maillにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	問題演習解説講義 矯正歯科治療と矯正歯科技工学 正常咬合と不正咬合	１）矯正歯科治療の意義と目的を述べる。 ２）矯正歯科技工学の意義と目的を説明する。 ３）正常咬合の条件と種類を列記する。 ４）個々の歯の位置異常を述べる。 ５）歯列弓形態の異常を列記する。 ６）アングルの不正咬合分類を説明する。 ７）不正咬合による障害を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第２回	長谷川　優	問題演習解説講義 矯正歯科治療の進め方 歯科技工用器具、器材、材料 矯正歯科技工の手技	１）矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わりを述べる。 ２）症例分析と矯正診断の流れを説明する。 ３） 動的矯正治療と保定を説明する。 ４）保定について説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第３回	長谷川　優	問題演習解説講義 矯正用口腔模型の製作 矯正装置の必要条件と分類	１）矯正装置の必要条件と分類法を述べる。 ２）矯正用口腔模型の種類と特徴を説明する。 ３）矯正用口腔模型の製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第４回	長谷川　優	問題演習解説講義 舌側弧線装置 顎間固定装置	１）舌側弧線装置の目的を述べる。 ２）舌側弧線装置の構成を列記する。 ３）舌側弧線装置の製作方法を説明する。 ４）顎間固定装置の目的を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第５回	長谷川　優	問題演習解説講義 機能的矯正装置	１）アクチバトールの目的と構成を述べる。 ２）バイオネーターの目的と構成を説明する。 ３）バイオネーターの製作方法を説明できる。 ４）咬合挙上板の目的と構成を説明する。 ５）咬合斜面板の目的と構成を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第６回	長谷川　優	問題演習解説講義 拡大装置	１）拡大装置の目的を述べる。 ２）歯列弓拡大装置の種類を列記する。 ３）可撤式拡大装置の構成を列記する。 ４）固定式拡大装置の構成を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第７回	長谷川　優	問題演習解説講義 顎外固定装置 リップバンパー マルチ ブラケット装置	１）ヘッドギアの目的と構成を述べる。 ２）オトガイ帽装置の目的と構成を説明する。 ３）上顎前方牽引装置の目的と構成を説明する。 ４）リップバンパーの目的と構成を述べる。 ５）マルチブラケット装置の目的を述べる。 ６）マルチブラケット装置の間接法の製作方法を 説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	

第８回	**長谷川　優**	問題演習解説講義 保定装置	１）ホーレーリテーナーの目的と構成を説明する。 ２）ホーレーリテーナーの製作方法を述べる。 ３）ラップアラウンドリテーナーの目的と構成を説明する。 ４）トウースポジショナーの目的と製作方法を述べる。 ５）スプリングリテーナーの目的と製作方法を述べる。 ６）下顎大歯間リテーナーの目的と製作方法を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	

授業科目名	授業形態	単位数
矯正歯科技工学実習	実習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第2学年	前期	月曜日	13:00～16:00

授業概要

矯正歯科治療において適切な装置を製作するために、基本的手技を理解し、動的・静的矯正装置の製作方法を修得する。

一般目標（GIO）

適切な矯正装置を作成するために、装置の構造と機能を理解し、各装置の製作方法と使用する材料の取り扱いを修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（10 %）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（　製作物　）（90　%）

レポート（10%），製作物（90%）の結果を評価対象とする。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-maillにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	実習講義 線屈曲	１）矯正歯科治療の意義、目的、特徴を説明する。 ２）矯正歯科技工学の意義、目的、特徴を説明する。 ３）線屈曲に必要な器材を準備する。 ４）各種屈曲用プライヤーの特徴を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第２回	長谷川　優	実習講義 線屈曲 自在ろう付け	１）線屈曲に必要な器材を準備する。 ２）線屈曲を実施する。 ３）自在ろう付けに必要な器材を準備する。 ４）自在ろう付けの方法を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第３回	長谷川　優	線屈曲 自在ろう付け	１）自在ろう付けに必要な器材を準備する。 ２）自在ろう付けの特徴を説明する。 ３）ろう付け後の処理について説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第４回	長谷川　優	自在ろう付け 演習 舌側弧線装置	１）ろう付け部の研磨を行う。 ２）自在ろう付けと線屈曲を仕上げる。 ３）舌側弧線装置の製作方法を説明する。 ４）舌側弧線装置の製作上の注意点を説明する。 ５）舌側弧線装置の特徴を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第５回	長谷川　優	実習講義 保定装置の製作	１）ホーレーの保定装置製作時の注意点を説明する。 ２）ホーレーの保定装置の床外形線を設定する。 ３）接歯唇側線屈曲に必要な器材を準備する。 ４）接歯唇側線の屈曲法を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第６回	長谷川　優	保定装置の製作	１）接歯唇側線屈曲に必要な器材を準備する。 ２）切歯に接する部分の屈曲を行う。 ３）ループ部の屈曲を行う。 ４）単純鉤の屈曲を行う。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第７回	長谷川　優	保定装置の製作	１）矯正用レジンの取扱い方法を説明する。 ２）レジン分離材の目的を説明する。 ３）接歯唇側線の固定を行う。 ４）単純鉤の固定を行う。 ５）矯正用レジンの添加を実施する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第８回	長谷川　優	保定装置の製作	１）床部研磨に必要な器材を準備する。 ２）床部の形態修正における注意点を説明する。 ３）床部の研磨を実施する。 ４）仕上げ研磨を行う。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み、実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	

授業科目名	授業形態	単位数
小児歯科技工学Ⅰ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第1学年	後期	月曜日	10:40～12:00

授業概要

小児歯科医療において適切な咬合誘導を理解するために、小児歯科診療の流れと小児歯科技工との関連を修得し、咬合誘導装置について各々の目的、構成および製作方法を身につける。

一般目標（GIO）

小児歯科治療の目的および臨床的位置づけと歯科技工の関わりを理解するために，治療に用いる装置の目的，構成，使用材料と製作方法を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-maillにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	小児歯科技工の概説	１）小児歯科診療の特色を述べる。 ２）小児歯科技工の特徴を説明する。 ３）乳歯列期の特徴を記述する。 ４）混合歯列期の特徴を記述する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第２回	長谷川　優	歯・顎・顔面の成長発育	１）全身の成長発育を説明する。 ２）小児の年齢評価を説明する。 ３）上顎骨の成長発育を述べる。 ４）下顎骨の成長発育を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第３回	長谷川　優	乳歯の形態的特徴 小児の歯冠修復	１）乳歯の一般的特徴を列記する。 ２）個々の乳歯の特徴を述べる。 ３）小児における歯冠修復の目的を述べる。 ４）小児の歯冠修復の種類を列記する。 ５）乳歯用既製金属冠による修復の特徴を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第４回	長谷川　優	乳歯列期の特徴	１）乳歯列の形態を述べる。 ２）生理的歯冠空隙を記述する。 ３）有隙型および閉鎖型歯列弓を説明する。 ４）水平被蓋と垂直被蓋を説明する。 ５）ターミナルプレーンを記述する
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第５回	長谷川　優	混合歯列期の特徴	１）第一大臼歯萌出期の特徴を説明する。 ２）切歯萌出期の特徴を説明する。 ３）側方歯群交換期について述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第６回	長谷川　優	保隙装置（１）	１）保隙装置の目的を述べる。 ２）保隙装置を分類する。 ３）クラウンループの目的,構成,製作方法を説明する。 ４）ディスタルシューの目的,構成,製作方法を説明する。 ５）リンガルアーチの目的,構成,製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第７回	長谷川　優	保隙装置（２）	１）ナンスのホールディングアーチの目的を説明する。 ２）ナンスのホールディングアーチの製作法を説明する。 ３）可撤保隙装置の目的,構成,製作方法を説明する。 ４）スペースリゲーナーの目的を述べる。 ５）スペースリゲーナーの製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第８回	**長谷川　優**	口腔習癖除去装置 咬合誘導装置に用いる維持装置	１）口腔習癖の種類を列記する。 ２）口腔習癖除去装置の目的を述べる。 ３）維持装置の種類を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

授業科目名	授業形態	単位数
小児歯科技工学Ⅱ	講義	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第2学年	後期	金曜日	10:40～12:00

授業概要

小児歯科技工学の総論的事項と各論的事項を身につけるために、問題を解き、その内容を理解する。

一般目標（GIO）

小児歯科技工学の総論的事項と各論的事項を修得するために、小児歯科治療の流れと各種咬合誘導装置についての問題を解き、その内容を理解する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- [ ] ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- [ ] ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- [○] ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- [○] ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- [ ] ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- [ ] ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- [ ] ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- [ ] ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- [○] ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- [○] ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- [ ] PBL
- [ ] ディベート
- [ ] ディスカッション
- [ ] フィールドワーク
- [ ] プレゼンテーション
- [ ] その他（　　）

成績評価の方法と割合

- [○] 定期試験（100%）
- [ ] 提出物（ノート・レポート）（　　%）
- [ ] ポートフォリオ（　　%）
- [ ] 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- [ ] その他（　　）（　　%）

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（100%）により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-maillにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	問題演習解説講義 小児歯科技工の概説	１）小児歯科診療の特色を述べる。 ２）小児歯科技工の特徴を説明する。 ３）乳歯列期の特徴を記述する。 ４）混合歯列期の特徴を記述する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第２回	長谷川　優	問題演習解説講義 歯・顎・顔面の成長発育	１）全身の成長発育を説明する。 ２）小児の年齢評価を説明する。 ３）上顎骨の成長発育を述べる。 ４）下顎骨の成長発育を述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第３回	長谷川　優	問題演習解説講義 乳歯の形態的特徴 小児の歯冠修復	１）乳歯の一般的特徴を列記する。 ２）個々の乳歯の特徴を述べる。 ３）小児における歯冠修復の目的を述べる。 ４）小児の歯冠修復の種類を列記する。 ５）乳歯用既製金属冠による修復の特徴を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第４回	長谷川　優	問題演習解説講義 乳歯列期の特徴	１）乳歯列の形態を述べる。 ２）生理的歯冠空隙を記述する。 ３）有隙型および閉鎖型歯列弓を説明する。 ４）水平被蓋と垂直被蓋を説明する。 ５）ターミナルプレーンを記述する
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第５回	長谷川　優	問題演習解説講義 混合歯列期の特徴	１）第一大臼歯萌出期の特徴を説明する。 ２）切歯萌出期の特徴を説明する。 ３）側方歯群交換期について述べる。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第６回	長谷川　優	問題演習解説講義 保隙装置（１）	１）保隙装置の目的を述べる。 ２）保隙装置を分類する。 ３）クラウンループの目的,構成,製作方法を説明する。 ４）ディスタルシューの目的,構成,製作方法を説明する。 ５）リンガルアーチの目的,構成,製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第７回	長谷川　優	問題演習解説講義 保隙装置（２）	１）ナンスのホールディングアーチの目的を説明する。 ２）ナンスのホールディングアーチの製作法を説明する。 ３）可撤保隙装置の目的,構成,製作方法を説明する。 ４）スペースリゲーナーの目的を述べる。 ５）スペースリゲーナーの製作方法を説明する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	
第８回	長谷川　優	問題演習解説講義 口腔習癖除去装置 咬合誘導装置に用いる維持装置	１）口腔習癖の種類を列記する。 ２）口腔習癖除去装置の目的を述べる。 ３）維持装置の種類を列記する。
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいてください。	

授業科目名	授業形態	単位数
小児歯科技工学実習	実習	1

授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
長谷川　優	第2学年	前期	月曜日	13:00～16:00

授業概要

小児歯科治療において適切な咬合誘導を図るために、保隙装置とスペースリゲーナーの製作方法について修得する。

一般目標（GIO）

適切な咬合誘導装置を作製するために、装置の構造と機能を理解し、各装置の製作方法と使用する材料の取り扱いを修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　第1版　全国歯科技工士教育協議会編　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（10 %）
- ポートフォリオ（　　%）
- 成果発表（口頭・実技）（　　%）
- ○ その他（　製作物　）（90　%）

レポート（10%），製作物（90%）の結果を評価対象とする。

オフィスアワー

オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-maillにて haseyu@ngt.ndu.ac.jp 宛ご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	長谷川　優	クラウンループの製作（１）	１）小児歯科技工学の目的を説明する。 ２）クラウンループの目的を説明する。 ３）クラウンループの製作方法を説明する。 ４）印象採得に必要な器材を準備する。 ５）作業用模型を咬合器に装着する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第２回	長谷川　優	クラウンループの製作（２）	１）ループ外形線の設計法を説明する。 ２）ループ屈曲に必要な器材を準備する。 ３）ループ屈曲時の注意点を説明する。 ４）ループを屈曲する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第３回	長谷川　優	クラウンループの製作（３） ディスタルシューの演習	１）ループと乳歯冠のろう付けを実施する。 ２）ろう付け部の形態修正を実施する。 ３）ディスタルシューの特徴を説明する。 ４）ディスタルシュー製作時の注意点を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第４回	長谷川　優	クラウンループの製作（４） スペースリゲーナーの製作（１）	１）ろう付け部を研磨する。 ２）クラウンループを仕上げる。 ３）スペースリゲーナーの製作方法を説明する。 ４）スペースリゲーナーの製作上の注意点を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第５回	長谷川　優	スペースリゲーナーの製作（２）	１）スペースリゲーナーの床外形線を設計する。 ２）アダムスのクラスプの特徴を説明する。 ３）シュワルツのクラスプの特徴を説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第６回	長谷川　優	スペースリゲーナーの製作（３）	１）維持装置屈曲に必要な器材を準備する。 ２）維持装置屈曲時の注意点を説明する。 ３）拡大ネジの取扱いについて説明する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第７回	長谷川　優	スペースリゲーナーの製作（４）	１）矯正用レジン添加に必要な器材を準備する。 ２）矯正用レジンの取扱いについて説明する。 ３）矯正用レジンの添加と重合を実施する。 ４）床部の形態修正の注意点を説明する。 ５）床部の形態修正を実施する。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	
第８回	長谷川　優	スペースリゲーナーの製作（５）	１）床部の形態修正に必要な器材を準備する。 ２）床部の研磨の注意点を説明する。 ３）床部の形態修正と研磨を実施する ４）スペースリゲーナーを仕上げる。
	準備学習	実習内容と関連する実習書のページを読み，実習の流れや操作の手順などを確認しておいてください。	

授業科目名

歯科技工実習

授業形態

実習

単位数

11

授業責任者

関口　博一

学年	学期	曜日
第2学年	通年	

授業時間

前期：月曜日・木曜日 9:00～12:00, 金曜日 13:00～16:00
後期：木曜日 9:00～16:00, 金曜日 9:00～10:20

授業概要

本実習の目的はこれまでの講義・基礎実習の内容に加え、日本歯科大学新潟病院での臨床実習を通して実際の医療現場での歯科技工士の役割り、必要とされる知識および技能を修得することである。また、実際に製作した補綴装置がどのように患者さんに用いられているのかを体験し、多職種のスタッフとの中で円滑なチーム医療を行うことができる歯科技工士としての総合的な実力を身につける。日本歯科大学新潟病院での先進的な歯科技工システムや専門的な歯科治療における補綴装置の製作など、今後必要となる歯科技工技術についても修得する。

一般目標（GIO）

歯科技工士として口腔健康管理の向上に貢献し円滑なチーム歯科医療を行うために、専門職としての倫理観、臨床に則した知識・技術、および態度を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ○ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ○ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ○ ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

技工臨床臨床実習指針、最新歯科技工士教本　有床義歯技工学第1版　全国歯科技工士教育協議会　医歯薬出版

参考書

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ○ ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（　　）

成績評価の方法と割合

- 定期試験（　　%）
- ○ 提出物（ノート・レポート）（40　%）
- ポートフォリオ（　　%）
- ○ 成果発表（口頭・実技）（40　%）
- ○ その他（小テスト）（20　%）

製作物の到達度（40%）、実技試験（40%）および実習の際の小テスト（20%）により評価を行う。

オフィスアワー

未定

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
通年	関口　博一	臨 床 実 習 詳細は「技工臨床実習指針」を参照	１.技工臨床実習指針に従い、臨床実習を実施する。 ２.臨床現場における歯科技工士としての協調性、責任感、奉仕の精神を身につける。 ３.臨床に則した専門化、高度化する歯科技工技術を実施する。 ４.歯科技工士として継続して自己研鑽する。
	準備学習	技工臨床実習指針を読む。	

授業科目名

総合講義（専門分野）

授業形態

講義

単位数

1

授業責任者

各科目担当者

学年	学期	曜日
第2学年	後期	

授業時間

月曜日・火曜日　13:00～16:00
水曜日　9:00～16:00

授業概要

歯科技工士国家試験を受験するにあたり、今まで科目単位で学んできた知識を専門職として必要な知識、すなわち「歯科技工学」として各自が統合を行う。歯科技工士国家試験を見据え、より深い知識を履修・復習する。

一般目標（GIO）

歯科技工士国家試験に合格するため、三年間の総復習を行い、より深い知識を習得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ○ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ○ ③ 歯科技工の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ○ ④ 歯科技工士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ○ ① 全人的視点から口腔機能の回復・向上するための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 高い技術力と豊かな表現力、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、使命感を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ○ ④ 専門化・高度化する歯科医療に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ○ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

各教科校本

参考書

各教科校本

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

☐ PBL　☐ ディベート　☐ ディスカッション
☐ フィールドワーク　☐ プレゼンテーション
☐ その他（　　）

成績評価の方法と割合

☐ 定期試験（　　%）　☐ 提出物（ノート・レポート）（　　%）
☐ ポートフォリオ（　　%）　☐ 成果発表（口頭・実技）（　　%）
○ その他（卒業試験及び実技試験）（100%）

卒業試験及び実技試験に合格した者には単位を認定する

オフィスアワー

各科目担当者のメールアドレス
※事前にメールで要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第１回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第２回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第３回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第４回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第５回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第６回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第７回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第８回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第９回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第11回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第12回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	１）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第13回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第14回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第15回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第16回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第17回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第18回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第19回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第20回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第21回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第22回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第23回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第24回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第25回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第26回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第27回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第28回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第29回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第30回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第31回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第32回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第33回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第34回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第35回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第36回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第37回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第38回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第39回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第40回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第41回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第42回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第43回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第44回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第45回	各科目担当者	歯科技工士国家試験対策	1）歯科技工士国家試験に合格する知識及び技術を有する。
	準備学習	国家試験に向けた講義となるため、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	